

教育保育学部

教育保育学部教育理念と教育課程の特徴

1. 教育保育学部教育理念

教育保育学部教育理念は＜参加＞＜共同＞＜創造＞です。内容は以下の通りです。学生みなさんはしっかりと自らの課題として受けとめて学んでほしいと思います。

【教育保育学部の基本理念】

教育・保育学に関する体系的な教育・研究を通して、学生の社会参加と自己実現を支援し、もって人類の福祉と子どもの最善の利益に貢献しうる高度の専門性を具えた有為な職業人を養成するとともに、社会の要請に応えつつ教育・保育の社会的な発展に貢献する。

【3つの目標と9つの課題】

- (1) 男女共同参画社会の実現という現代社会の課題に応え、学生の自己実現を支援し、能動的で自己開発的な学修主体として社会参加の意識の高い能力をもった学生を形成する。＜参加＞
 - a、授業への積極的な参加を促し、自主的・主体的で、自己開発的な学修主体として学生を形成する。
 - b、学部の責任ある構成員として学部づくりへの積極的な参加を促し、その行動と経験を通して社会参加の意識と能力を醸成する。
 - c、ボランティア活動、実習、インターンシップ、演習等の授業および授業外の社会参加・体験学修の豊かな機会を保障し、責任ある社会の構成員としての意識と能力を醸成する。
- (2) 個人としての責任感と同時に共同の責任感をもって、問題解決と課題実現のために豊かな研究と活動を共同で展開しうる意識と能力をもった学生を形成する。＜共同＞
 - a、サークル活動等学生の自主的諸活動を積極的に促進し、相互に協力して問題解決と課題実現のために活動する機会を豊かに実現する。
 - b、ゼミなどの活動を通して、学生が個人としてまた相互に協力し、かつ学生と教員とが目標を共有して、特定のテーマについて研究し、様々な課題に則して活動する経験を豊かに保障する。
 - c、社会参加の多面的な機会を通して、責任ある活動のために組織されている協力関係を体験的に学び、そのような協力関係を取り結ぶ責任ある社会の構成員としての意識や能力を醸成する。
- (3) 子どもの発達保障や子どもの最善の利益を実現しうる社会の形成等の責任ある社会的活動に従事しうる想像力と創造力を豊かにもった学生を形成する。＜創造＞
 - a、時代の要請に応え教育・保育学の体系として構造化された教育保育学部の教育課程を系統的に学ぶことを通して、学問的な想像力を豊かに涵養し、教育・保育学の創造的な学修主体としての学生の自己確立を支援する。
 - b、学生にとって学修と生活の基盤であり環境である教育保育学部を「私の大学」としてのアイデンティティを持ちうるように、学生一人一人が責任ある構成員としての意識をもって学部を創造する活動を積極的に展開し体験する。
 - c、社会参加の多面的な機会を通して、教育・保育や子育て支援等の仕事や活動において求められる課題を理解し解決するために必要な想像力と創造力を体験的に学び、専門職としての創造的な力量を豊かに形成する。

教育保育学部教育保育学科のディプロマポリシー

教育保育学科は、「人類の福祉と世界の子どもの最善の利益に貢献できる高度な専門性を具えた有為な人材を養成する」という教育保育学部の教育理念のもとで、学則に定める所定の単位を修得し、以下の力を身につけた学生に、学士（教育・保育学）の学位を授与する。

1. 高い学修意欲や永続的に自己開発意欲を踏まえて、自主的・主体的に学び活動する力を身につけている。
2. 豊かな人間性と人間理解、豊かなコミュニケーション能力・自己表現能力・共感能力、信頼されうる社会的モラル等を踏まえて、他者と協力・協同して学び合う力を身につけている。
3. 教育・保育に関する課題を発見・理解するために必要な、豊かな教養、専門的な知識・技術を身につけている。
4. 教育・保育に関する課題を分析・解決する力として、必要な情報を収集・選択・活用する思考力、判断力や、的確に他者へ伝える表現力を身につけている。

教育保育学部教育保育学科が目指す教師像・保育士像

【小学校教諭・特別支援学校教諭】

1. 教育に対する使命感や情熱、教師に求められる高い倫理観や規範意識を持ち、子どもの心身の発達・成長を第一に考え、適切な指導ができるように、自ら学び続けることができる教師。
2. 組織の一員として他の教職員と協力し、職務を遂行できるとともに、家庭や地域社会と良好な関係を築くことができる教師。
3. 小学校学習指導要領および特別支援学校幼稚園教育要領、小学部・中学部学習指導要領に基づいて、授業を計画し、身につけた指導技術を生かして授業をすることができる。また、生徒指導およびキャリア教育の意味を理解し、複雑化・多様化する児童が抱える様々な課題に対し指導することができる教師。
4. 子どもとの信頼関係を築くとともに、子ども一人ひとりの発達の状況に応じて、自らの学習指導や学級経営の在り方を省察し改善を図ることができる教師。

【幼稚園教諭】

1. 教育に対する使命感や情熱、教師に求められる高い倫理観や規範意識を持ち、子どもの心身の発達・成長を第一に考え、適切な指導ができるように、自ら学び続けることができる教師。
2. 組織の一員として他の教職員と協力し、職務を遂行できるとともに、家庭や地域社会と良好な関係を築くことができる教師。
3. 幼稚園教育要領に基づいて、指導計画を工夫し、環境構成を行い、身につけた保育技術を活かして指導することができる教師。
4. 子どもとの信頼関係を築くとともに、子ども一人ひとりの発達の状況や幼児教育に係る知見を元に、個と集団に応じた指導・援助、学級運営の在り方を省察し改善を図ることができる教師。

【保育士】

1. 保育・養護に対する使命感や情熱、保育士に求められる高い倫理観や規範意識を持ち、子どもの心身の発達・成長を第一に考え、適切な指導ができるように、自ら学び続けることができる保育士。
2. 組織の一員として他の保育士や職員と協力し、職務を遂行できるとともに、家庭や地域社会と良好な関係を築くことができる保育士。
3. 児童福祉の法令や保育所保育指針等に基づいて、指導計画を工夫し、環境構成を行い、身につけた保育技術を活かして、子どもの最善の利益を保障しながら援助することができる保育士。
4. 子どもとの信頼関係を築くとともに、子ども一人ひとりの発達の状況や保育・養護に係る知見を元に、個と集団に応じた援助の在り方を省察し改善を図ることができる保育士。

教育保育学部国際教養こども学科ディプロマポリシー

国際教養こども学科は、「人類の福祉と世界の子どもの最善の利益に貢献できる高度な専門性を具えた有為な人材を養成する」という教育保育学部の教育理念のもとで、学則に定める所定の単位を修得し、以下の力を身につけた学生に、学士（保育学）の学位を授与する。

1. 共通教育科目・専門教育科目の学修を通して、教育・保育に関する専門的知識・技能を修得し、国際社会で活躍するために必要な幅広い視野と知識と教養を身につけている。

2. 日本と海外の保育を学修して2カ国の保育士資格取得を目指すとともに、各国の保育の比較を通して自らのより望ましい保育のあり方について考察する力を身につけている。
3. 国内外での実習と卒業研究に取り組むことで、課題を見出し解決する力と論理的思考力を身につけている。
4. 多文化共生社会に生きる子どもと保護者の支援を行うのに必要な異文化受容能力を身につけている。
5. グローバル時代に対応できる日本語及び英語を中心とする外国語による高いコミュニケーション能力を身につけている。

教育保育学部国際教養こども学科が目指す教師像・保育士像

【幼稚園教諭・保育士】

1. 幼稚園教育要領や保育所保育指針等を理解するとともに、海外の教育指針を複眼的に省察することで教育の本質に根差し、幼児教育の現在から未来を展望する知識と技能を持つ教師及び保育士。高い教養と人間性により、子どもとの深い信頼関係を築く教師及び保育士。
2. 教育・保育における問題点を把握し解決に導き、目的や場面、状況等にに応じた多様な考えの理解に努める教師及び保育士。子どもや周りの人々との関係性において、様々な方法により互いの思いや考えを適切に伝え合い、意味や価値を創造して表現する教師及び保育士。
3. 子どもを取り巻く背景についての問題意識を持ち、自らの幼児教育観・保育観に基づき、高い人間性と専門性により、情熱と創意工夫をもちながら教育する教師及び保育士。時代の要請により、自ら変化し続ける柔軟性を持った教師及び保育士。
4. 職場などの仲間と思いやりと相互理解を図りながら、チームの中での自分の役割に責任感を持ち、協働して教育・保育していく教師及び保育士。豊富なコミュニケーション力を発揮し、様々な状況に応じた適切な教育と援助が出来る教師及び保育士。

教育保育学部教育保育学科のカリキュラムポリシー

教育保育学部教育保育学科の教育課程は、教育・保育の課題を乳幼児期から児童期の子どもの発達理解と発達環境の諸側面の課題をふまえ、総合的・構造的に、理論と実践を結びつけて探求できるように編成するとともに、保育士資格、幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許、特別支援学校教諭一種免許の取得に必要な科目を希望するすべての学生が履修できるように編成する。

1. ゼミ・実習

教育保育学部教育保育学科は、1年から4年までゼミと実習を系統的に配置している。ゼミ（1年：基礎演習、2年：総合演習Ⅰ、3年：総合演習Ⅱ、4年：卒業研究）は、大学における学修及び教育保育学部における教育への参加学生の基盤であり、個別指導のチュートリアルシステムである。実習は、取得を希望する免許・資格に対応して、幼稚園、保育所、児童福祉施設、小学校、特別支援学校等で段階的に実施される。

2. 教育課程

学生は、教育保育学科の教育課程の系統的な学修を通して、教育・保育専門職として求められる高度な専門職としての力量の基礎を総合的に培うとともに、現代社会の有能な担い手として社会に貢献しうる人材として自らを開発することが可能となっている。教育保育学科では幅広い教養と高い専門性を養うために以下のようなカリキュラムを編成している。講義・演習・実技科目においては、アクティブ・ラーニングの手法を用いた双方向型の授業や、ICTを活用した授業等を展開する。

1. 幅広い教養と豊かな人間性を涵養する。
「教養科目（桜花学）」と「基礎科目」からなる「共通教育科目」を設置し、幅広い教養と各領域の基礎知識を身につける。
2. 教育・保育に関する専門的な知識・技能を身につける。
「教育・保育の本質・目的に関する科目」「教育・保育の対象理解に関する科目」「教育・保育の内容・方法に関する科目」「特別支援教育に関する科目」「体験学習科目」「総合的な学修・研究科目」を設置し、教育・保育の分野に関する保育者・教師に必要な知識とスキルを理論・実践の両側面から身につける。

【学修成果の評価】

学修成果は、試験等を科しそれぞれの科目において身についた「主体的に学ぼうとする力」「協同的に学び合う力」「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」を測定する。評価における客観的評価指標として、ルーブリック等を用いる。

教育保育学部国際教養こども学科カリキュラムポリシー

教育保育学部国際教養こども学科の教育課程は、教育・保育の課題を就学前の子どもの発達理解と発達環境の諸側面を踏まえ、総合的・構造的に、理論と実践を結びつけて探究できるよう編成するとともに、保育士資格、幼稚園教諭一種免許、Certificate III in Early Childhood Education and Care（オーストラリアのアシスタント保育士資格）の取得に必要な科目を希望するすべての学生が履修できるように編成する。

1. ゼミ・実習

教育保育学部国際教養こども学科は、1年から4年までゼミと実習を系統的に配置している。ゼミ（1年：基礎演習、2年：総合演習AB、3年総合演習C、4年：卒業研究）は、大学における学修及びの教育保育学部における教育への参加学生の基盤であり、個別指導のチュートリアルシステムである。実習は、取得を希望する免許・資格に対応して、幼稚園、保育所、施設、オーストラリアの保育施設等で段階的に実施される。

2. 教育課程

学生は、国際教養こども学科の教育課程の系統的な学修を通して、教育・保育専門職として求められる高度な専門職としての力量の基礎を総合的に培うとともに、現代社会の有能な担い手、且つ、社会に貢献しうる人材として自らを開発することが可能となっている。国際教養こども学科では幅広い教養と高い専門性を養うために以下のようなカリキュラムを編成している。講義・演習・実技科目においては、アクティブ・ラーニングの手法を用いた双方向型の授業や、ICTを活用した授業等を展開する。

- 幅広い教養と豊かな人間性を涵養する。
「教養科目（桜花学）」と「基礎科目」からなる「共通教育科目」を設置し、幅広い教養と各領域の基礎知識を身につける。
- 教育・保育に関する専門的な知識・技能を身につける。
・「こども教育科目」、「国際教養科目」、「実習科目」、「演習科目」からなる「専門教育科目」を設置し、教育・保育の分野に関する保育者に必要な知識とスキルを理論・実践の両側面から身につける。
- グローバル社会で通用する異文化適応能力及び異文化コミュニケーション能力を身につける。
・「専門教育科目」内の「国際教養科目」の一部に必修留学を含め、異なる文化的背景を持つ他者を受け入れる力を養うための科目を設置し、国内外の教育・保育現場で必要とされるコミュニケーション能力を身につける。

【学修成果の評価】

学修成果は、試験等を科しそれぞれの科目において身についた「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」を測定する。評価における客観的評価指標として、ルーブリック等を用いる。

教育保育学部教育保育学科教育課程表(2025年度入学者)

区分		授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	1年			2年		3年		4年			
								小	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養科目 (一般学)	自己を知る 人間を知る 社会を知る 世界を知る 自然を知る	ライフコース論	OK11L0001	2	講義		必修2				○							
		ジェンダー論	OK11L0002	2	講義		必修2			△	○							
		自分と家族	OK11L0003	2	講義		必修2				○							
		芸術の世界	OK11L0101	2	講義		必修2				○							
		ことばの世界	OK11L0102	2	講義		必修2				○							
		心の探求	OK11L0103	2	講義		必修2				○							
		生き方の探求	OK11L0104	2	講義		必修2				○							
		生活と経済	OK12L0201	2	講義		必修2					○						
		地域社会	OK12L0202	2	講義		必修2					○						
		人間と歴史	OK12L0203	2	講義		必修2					○						
学芸科目 (一般学)	異文化理解 日本の文化 国際関係論 グローバル社会と宗教 環境の科学 食と生命の科学 生き物の社会	OK12L0301	2	講義		必修2					○							
		OK12L0302	2	講義		必修2					○							
		OK12L0303	2	講義		必修2					○							
		OK12L0304	2	講義		必修2					○							
		OK21L0401	2	講義		必修2						○						
		OK21L0402	2	講義		必修2						○						
		OK21L0403	2	講義		必修2						○						
基礎科目 (一般学)	スポーツ健康論 スポーツⅠ スポーツⅡ 統計学 社会調査法 情報社会論 コンピュータⅠ コンピュータⅡ NGO・NPO論 現代社会と企業 地域協力演習 インターンシップ(国内)A インターンシップ(国内)B インターンシップ(海外)A※ インターンシップ(海外)B※ インターンシップ(海外)C※ インターンシップ(海外)D※ ボランティア(海外) 海外英語資格実習	OK12K1001	2	講義		必修1	○	○	○		○							
		OK22K1001	1	実技		必修1		△	△	△			○					
		OK22K1002	1	実技		必修1							○					
		OK21K1101	2	講義		必修2						○						
		OK22K1101	2	講義		必修2						○						
		OK22K1102	2	講義		必修2							○					
		OK11K1101	1	演習	1			○	○	○	○							
		OK12K1101	1	演習	1			○	○	○		○						
		OK31K1201	2	講義		必修2								○				
		OK31K1202	2	講義		必修2								○				
全学共通科目 (一般学)	社会貢献・職業能力開発関係	OK31K1203	2	演習		必修2								○				
		OK21K1201	1	演習		必修2						○	○	○	○	○	○	
		OK21K1202	2	演習		必修2						○	○	○	○	○	○	
		OK12K1201	1	演習		必修2				○	○	○	○	○	○	○	○	
		OK12K1202	2	演習		必修2				○	○	○	○	○	○	○	○	
		OK12K1203	3	演習		必修2				○	○	○	○	○	○	○	○	
		OK12K1204	4	演習		必修2				○	○	○	○	○	○	○	○	
		OK12K1205	2	実技		必修2				○	○	○	○	○	○	○	○	
		OK21K1203	2	実技		必修2				○	○	○	○	○	○	○	○	
		グローバル化に対応したコミュニケーション能力の養成	OK11K1301	1	演習	1			○	○	○	○						
	OK12K1301		1	演習	1			○	○	○		○						
	OK21K1301		1	演習	1		1					○						
	OK22K1301		1	演習	1		1						○					
	OK31K1301		1	演習	1		1							○				
	OK32K1301		1	演習	1		1								○			
	OK41K1301		1	演習	1		1									○		
	OK42K1301		1	演習	1		1										○	
	OK11K1302		1	演習							○							
	OK12K1302		1	演習								○						
	OK11K1303		1	演習							○							
	OK12K1303		1	演習								○						
	OK11K1304		1	演習								○						
	OK12K1304		1	演習									○					
	OK11K1305		1	演習								○						
	OK12K1305		1	演習									○					
	基礎科目 (一般学)	中国語と文化Ⅰ 中国語と文化Ⅱ 中国語と文化Ⅲ 中国語と文化Ⅳ 韓国語と文化Ⅰ 韓国語と文化Ⅱ 韓国語と文化Ⅲ 韓国語と文化Ⅳ 日本国憲法 海外研修A 海外研修B 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ	OK21K1302	1	演習								○					
OK22K1302			1	演習										○				
OK22K1302			1	演習											○			
OK11K1306			1	演習							○							
OK12K1306			1	演習								○						
OK21K1303			1	演習									○					
OK22K1303			1	演習										○				
OK22K1401			2	講義		2		○	○									
OK21K1401			2	実習	2						○	○	○	○	○	○	○	○
OK21K1402			4	実習	4							○	○	○	○	○	○	○
エクステンション科目 (一般学)	①他学部履修科目 ②大学間連携科目 ③愛知学長懇話会科目 ④資格認定	OK11K1401	1	演習	1				○	○								
		OK12K1401	1	演習	1													
科目コード		0000K2001		6	6													

エクステンション科目については別に定める。
※インターンシップ(海外)として取得できる単位は卒業までに4単位を上限とする。

教育保育学部教育保育学科教育課程表(2025年度入学者)

区分		授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒業	選択	小・幼・保の免許、資格を修得する科目				1年		2年		3年		4年	
								小	特支	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専攻科目	教育・保育の本質・目的に関する科目	教育原理	OH12S0001	2	講義	2		○		○	○								
		保育原理	OH12S0002	2	講義	2				○	○		○						
		子ども家庭福祉	OH12S0003	2	講義	2				○	○		○						
		保育・教育・福祉の制度と理論Ⅰ	OH31S0001	1	演習		1									○			
		保育・教育・福祉の制度と理論Ⅱ	OH32S0001	1	演習		1										○		
		社会福祉	OH11S0001	2	講義	2				○	○								
		子ども家庭支援論	OH22S0001	2	講義	2				○					○				
		社会的養護Ⅰ	OH21S0001	2	講義	2				○					○				
		社会的養護Ⅱ	OH22S0002	1	演習		1			○					○				
		保育者論	OH11S0002	2	講義	2				○	○	○							
		教育職論	OH21S0002	2	講義	2		○							○				
		教育制度	OH41S0001	2	講義	2		○		○	△							○	
	教育・保育の科目理解に関する科目	発達心理学	OH11S0101	2	講義	2		△		○	○	○							
		子ども家庭支援の心理学	OH32S0101	2	講義		2			○							○		
		子ども理解の理論と方法	OH21S0101	2	演習	2				○	○				○				
		教育心理学	OH31S0101	2	講義	2		○		○	△					○			
		特別支援基礎論	OH21S0102	1	講義	1		○		○	△				○				
		保幼小連携基礎論	OH11S0102	1	講義	1		△		△	△	○							
		保幼小連携総論	OH41S0101	1	講義	1		△		△	△							○	
		教育・保育学特講Ⅰ	OH32S0102	1	講義		1										○		
		教育・保育学特講Ⅱ	OH41S0102	1	講義		1											○	
		教育課程論	OH22S0201	2	講義	2		○							○				
	教育・保育の内容・方法に関する科目	保育カリキュラム論	OH32S0201	2	講義	2				○	○						○		
		保育内容総論	OH11S0201	2	演習	2				○	○	○							
		保育内容指導法（健康）	OH22S0202	2	演習	2				○	○						○		
		保育内容指導法（人間関係）	OH22S0202	2	演習	2				○	○								
		保育内容指導法（環境）	OH12S0201	2	演習	2				○	○		○						
		保育内容指導法（言葉）	OH12S0202	2	演習	2				○	○		○						
		保育内容指導法（表現）	OH22S0203	2	演習	2				○	○					○			
		国語科教育法	OH22S0204	2	講義	2	○								○				
		社会科教育法	OH32S0203	2	講義	2	○										○		
		算数科教育法	OH22S0205	2	講義	2	○								○				
		理科教育法	OH32S0204	2	講義	2	○										○		
		生活科教育法	OH22S0206	2	講義	2	○								○				
		音楽科教育法	OH42S0201	2	講義	2	○											○	
		図画工作科教育法	OH22S0207	2	講義	2	○								○				
		家庭科教育法	OH42S0202	2	講義	2	○											○	
		体育科教育法	OH32S0205	2	講義	2	○										○		
		英語科教育法	OH42S0203	2	講義	2	○											○	
		道德教育の指導法	OH21S0201	2	講義	2	○								○				
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	OH41S0201	2	講義	2	○											○	
		生徒・進路指導論	OH42S0204	2	講義	2	○												○
		教育の方法	OH21S0202	2	講義	2		○		○					○				
		ICT活用の理論と実践	OH21S0203	1	講義	1		○							○				
		幼児と健康	OH31S0201	1	演習	1				○	○						○		
		幼児と人間関係	OH21S0204	1	演習	1				○	○				○				
		幼児と環境	OH11S0202	1	演習	1				○	○	○							
		幼児と言葉	OH11S0203	1	演習	1				○	○	○							
		幼児と表現	OH21S0205	1	演習	1				○	○				○				
		国語	OH21S0206	1	講義	1		○							○				
		社会	OH31S0202	1	講義	1		○									○		
		算数	OH21S0207	1	講義	1		○							○				
		理科	OH31S0203	1	講義	1		○									○		
		生活	OH21S0208	1	講義	1		○							○				
		音楽	OH41S0202	1	演習	1		○										○	
		図画工作	OH21S0209	1	演習	1		○							○				
		家庭	OH41S0203	1	演習	1		○										○	
		体育	OH31S0204	1	演習	1		○								○			
		英語	OH41S0204	1	演習	1		○										○	
		幼児音楽ⅠA	OH11S0204	1	演習	1				△	△	○							
		幼児音楽ⅠB	OH12S0203	1	演習	1				△	△		○						
		幼児音楽Ⅱ	OH21S0210	1	演習	1				△	△			○					
		幼児音楽Ⅲ	OH31S0205	1	演習	1				△	△					○			
		ピアノ演習ⅠA	OH11S0205	1	演習	1						○							
		ピアノ演習ⅠB	OH12S0204	1	演習	1						○							
		ピアノ演習Ⅱ	OH22S0208	1	演習	1									○				

区分	授業科目	科目ナンバ	単位	形態	卒必	選択	小・幼・保の施設・機関に勤務する機会					1年		2年		3年		4年	
							小	特	支	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
育 科 目	特別支援教育に関する科目	表現の探求（造形）	0H31S0206	1	演習	1											○		○
		表現の探求（音楽）	0H41S0205	1	演習	1													○
		幼児造形Ⅰ	0H11S0206	1	演習	1				△	△	○							
		幼児造形Ⅱ	0H12S0205	1	演習	1				△	△		○						
		幼児体育Ⅰ	0H11S0207	1	演習	1				△	△	○							
		幼児体育Ⅱ	0H41S0206	1	演習	1													○
		ネイチャーワーク	0H31S0207	1	演習	1										○			
		児童文化	0H21S0211	1	演習	1				△	△			○					
		子どもの保健	0H31S0208	2	講義	2										○			
		子どもの健康と安全	0H32S0206	1	演習	1					○						○		
		子どもの食と栄養Ⅰ	0H31S0209	2	演習	2					○					○			
		子どもの食と栄養Ⅱ	0H32S0207	2	演習	2					△						○		
		障害児保育	0H31S0210	2	講義	2					○					○			
		乳児保育Ⅰ	0H22S0209	2	講義	2					○				○				
		乳児保育Ⅱ	0H31S0211	1	演習	1					○					○			
		保育環境マネジメント	0H41S0207	1	演習	1												○	
		子ども学演習	0H31S0212	1	演習	1										○			
		教育相談A	0H42S0205	1	講義	1		○		○									○
		教育相談B	0H42S0206	1	講義	1		○											○
		子育て支援	0H41S0208	1	演習	1					○							○	
		親と子どもの発達支援	0H32S0208	1	演習	1											○		
		チーム保育論	0H42S0207	1	演習	1													○
		医療保育Ⅰ	0H32S0209	1	講義	1											○		
		医療保育Ⅱ	0H41S0209	1	演習	1												○	
		インクルーシブ保育論	0H32S0210	1	講義	1											○		
		多文化共生保育・教育論	0H32S0211	1	講義	1											○		
		特別支援教育論	0H22S0301	2	講義	2				○					○				
		知的障害児の心理・生理・病理	0H31S0301	2	講義	2										○			
		肢体不自由児の心理・生理・病理	0H31S0302	2	講義	2										○			
		病弱児の心理・生理・病理	0H31S0303	2	講義	2										○			
		知的障害教育論Ⅰ	0H32S0301	2	講義	2					○						○		
		知的障害教育論Ⅱ	0H41S0301	2	講義	2												○	
		肢体不自由教育論Ⅰ	0H32S0302	2	講義	2					○						○		
		肢体不自由教育論Ⅱ	0H42S0301	2	講義	2					○								○
		病弱教育論	0H32S0303	2	講義	2					○						○		
		視覚障害児の心理・生理・病理	0H31S0304	1	講義	1										○			
		聴覚障害児の心理・生理・病理	0H42S0302	1	講義	1					○								○
		発達障害の理解	0H41S0302	1	講義	1					○							○	
		視覚障害教育論	0H31S0305	1	講義	1					○					○			
		聴覚障害教育論	0H42S0303	1	講義	1													○
		重複障害等教育論	0H41S0303	1	講義	1					○							○	
体 験 学 習 科 目	教育実習科目	教育実習Ⅰ	0H12S1001	1	実習	1					○								
		教育実習Ⅱ	0H32S1001	3	実習	3					○						○		
		教育実習Ⅲ	0H41S1001	3	実習	3				○								○	
		教育実習Ⅳ	0H42S1001	2	実習	2				○									○
		教育実習指導Ⅰ	0H11S1001	1	演習	1					○		○						
		教育実習指導Ⅱ	0H32S1002	1	演習	1					○						○		
		教育実習指導Ⅲ	0H41S1002	1	演習	1				○								○	
		教育実習指導Ⅳ	0H41S1003	1	演習	1				○								○	
		教職実践演習（幼・小）	0H42S1002	2	演習	2				○									○
		保育実習Ⅰ（保育所）	0H31S1001	2	実習	2					○					○			
		保育実習Ⅰ（施設）	0H22S1001	2	実習	2					○								
		保育実習Ⅱ	0H41S1004	2	実習	2					△							○	
		保育実習Ⅲ	0H41S1005	2	実習	2					△								
		保育実習指導Ⅰ（保育所）	0H31S1002	1	演習	1					○					○			
		保育実習指導Ⅰ（施設）	0H22S1002	1	演習	1					○				○				
		保育実習指導Ⅱ	0H41S1006	1	演習	1					△							○	
		保育実習指導Ⅲ	0H41S1007	1	演習	1					△							○	
		保育実践演習	0H42S1003	2	演習	2					○								○
		学校インターンシップ指導	0H21S1001	1	演習	1								○					
研 究 科 目	総合的な学習・研究科目	学校インターンシップ	0H22S1003	1	実習	1		○							○				
		海外幼児教育インターンシップ	0H12S1002	2	実習	2								○					
		総合演習ⅠA	0H21S2001	1	演習	1									○				
		総合演習ⅠB	0H22S2001	1	演習	1										○			
		総合演習ⅡA	0H31S2001	1	演習	1											○		
		総合演習ⅡB	0H32S2001	1	演習	1												○	
	卒業研究	卒業研究演習Ⅰ	0H41S2001	1	演習	1												○	
		卒業研究演習Ⅱ	0H42S2001	1	演習	1													○
		卒業研究	0H42S2002	2	演習	2													○

教育保育学部 国際教養こども学科 教育課程表(2025年度入学者)

区分	授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	小・幼・保		1年		2年		3年		4年	
							小	幼	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教育保育学部 国際教養こども学科 教育課程表(2025年度入学者)	ライフコース論	OK11L0001	2	講義		必修2			○							
	ジェンダー論	OK11L0002	2	講義		必修2		○	○							
	自分と家族	OK11L0003	2	講義		必修2			○							
	芸術の世界	OK11L0101	2	講義		選択必修2			○							
	ことばの世界	OK11L0102	2	講義		選択必修2			○							
	心の探求	OK11L0103	2	講義		選択必修2			○							
	生き方の探求	OK11L0104	2	講義		選択必修2			○							
	生活と経済	OK12L0201	2	講義		選択必修2				○						
	地域社会	OK12L0202	2	講義		選択必修2				○						
	人間と歴史	OK12L0203	2	講義		選択必修2				○						
	異文化理解	OK12L0301	2	講義		選択必修2				○						
	日本の文化	OK12L0302	2	講義		選択必修2				○						
	国際関係論	OK12L0303	2	講義		選択必修2				○						
	グローバル社会と宗教	OK12L0304	2	講義		選択必修2				○						
	環境の科学	OK21L0401	2	講義		必修2					○					
	食と生命の科学	OK21L0402	2	講義		必修2					○					
	生き物の社会	OK21L0403	2	講義		必修2					○					
	スポーツ健康論	OK12K1001	2	講義		選択必修1	○	○	○							
	スポーツⅠ	OK22K1001	1	実技		選択必修1	△	△	△			○				
	スポーツⅡ	OK22K1002	1	実技		選択必修1						○				
	統計学	OK41K1101	2	講義		選択必修2										○
	社会調査法	OK42K1101	2	講義		選択必修2										○
	情報社会論	OK42K1102	2	講義		選択必修2										○
	コンピュータⅠ	OK11K1101	1	演習	1		○	○	○	○						
	コンピュータⅡ	OK12K1101	1	演習	1		○	○	○		○					
	NGO・NPO論	OK41K1401	2	講義		選択必修2										○
	現代社会と企業	OK41K1402	2	講義		選択必修2										○
	地域協力演習	OK41K1403	2	演習		選択必修2										○
	インターンシップ(国内)A	OK21K1201	1	演習		選択必修2				○	○				○	○
	インターンシップ(国内)B	OK21K1202	2	演習		選択必修2				○	○	○			○	○
	インターンシップ(海外)A※	OK12K1201	1	演習		選択必修2				○	○	○			○	○
	インターンシップ(海外)B※	OK12K1202	2	演習		選択必修2				○	○	○			○	○
	インターンシップ(海外)C※	OK12K1203	3	演習		選択必修2				○	○	○			○	○
	インターンシップ(海外)D※	OK12K1204	4	演習		選択必修2				○	○	○			○	○
	ボランティア(海外)	OK12K1205	2	実習		選択必修2				○	○	○			○	○
	海外英語資格実習	OK21K1203	2	実習		選択必修2				○	○	○			○	○
	総合英語Ⅰ	OK11K1301	1	演習	1		○	○	○	○						
	総合英語Ⅱ	OK12K1301	1	演習	1		○	○	○		○					
	総合英語Ⅲ	OK21K1301	1	演習	1						○					
	総合英語Ⅳ	OK22K1301	1	演習	1							○				
	英語コミュニケーションⅠ	OK41K1301	1	演習		1									○	○
	英語コミュニケーションⅡ	OK42K1301	1	演習		1									○	○
	英語コミュニケーションⅢ	OK41K1303	1	演習		1									○	○
	英語コミュニケーションⅣ	OK42K1304	1	演習		1									○	○
	ポルトガル語と文化Ⅰ	OK11K1302	1	演習		1言語2単位以上				○						
	ポルトガル語と文化Ⅱ	OK12K1302	1	演習		1言語2単位以上				○						
	スペイン語と文化Ⅰ	OK11K1303	1	演習		1言語2単位以上				○						
	スペイン語と文化Ⅱ	OK12K1303	1	演習		1言語2単位以上				○						
	フランス語と文化Ⅰ	OK11K1304	1	演習		1言語2単位以上				○						
	フランス語と文化Ⅱ	OK12K1304	1	演習		1言語2単位以上				○						
	中国語と文化Ⅰ	OK11K1305	1	演習		1言語2単位以上				○						
	中国語と文化Ⅱ	OK12K1305	1	演習		1言語2単位以上				○						
	中国語と文化Ⅲ	OK21K1302	1	演習		1言語2単位以上					○					
	中国語と文化Ⅳ	OK22K1302	1	演習		1言語2単位以上						○				
	韓国語と文化Ⅰ	OK11K1306	1	演習		1言語2単位以上				○						
	韓国語と文化Ⅱ	OK12K1306	1	演習		1言語2単位以上					○					
	韓国語と文化Ⅲ	OK21K1303	1	演習		1言語2単位以上						○				
	韓国語と文化Ⅳ	OK22K1303	1	演習		1言語2単位以上							○			
	日本国憲法	OK22K1401	2	講義	2		○	○			○					
	海外研修A	OK21K1401	2	実習	2						○	○			○	○
	海外研修B	OK21K1402	4	実習	4						○	○			○	○
	基礎演習Ⅰ	OK11K1401	1	演習	1				○	○						
	基礎演習Ⅱ	OK12K1401	1	演習	1				○							
	①他学部履修科目 ②愛知学長懇話会科目等		6			6										

※ インターンシップ(海外)として取得できる単位は卒業までに4単位を上限とする。

教育保育学部 国際教養こども学科 教育課程表(2025年度入学者)

区分	授業科目	科目ナンバ	単位	形態	卒必	選択	特・修の免許・資格 を修得する場合		1 年		2 年		3 年		4 年	
							幼	保	前	後	前	後	前	後	前	後
こども教育科目	教育原理解	0K130001	2	講義	2			○	○							
	教育原理解	0K120002	2	講義	2		○	○		○						
	子ども家庭福祉	0K120003	2	講義	2			○		○						
	子ども家庭支援論	0K130004	2	講義	2			○	○							
	子ども家庭支援論	0K220005	2	講義	2						○					
	社会的養護Ⅰ	0K210006	2	講義		2		○			○					
	社会的養護Ⅱ	0K220007	1	演習		1						○				
	保育概論	0K210008	2	講義	2		○	○		○						
	保育概論	0K410009	2	講義	2		○	△							○	
	発達心理学	0K130010	2	講義	2		○	○	○							
	子ども家庭支援の心理学	0K220011	2	講義	2			○			○					
	子ども理解の理論と方法	0K210012	2	演習	2		○	○			○					
	教育心理学	0K420013	2	講義	2		○	△							○	
	特別支援基礎論	0K210014	1	講義		1	○	△			○					
	保育カリキュラム論	0K420015	2	講義	2		○	○								○
	保育内容総論	0K130016	2	演習	2		○	○	○							
	保育内容指導法(健康)	0K220101	2	演習	2		○	○				○				
	保育内容指導法(人間関係)	0K220102	2	演習	2		○	○				○				
	保育内容指導法(環境)	0K120103	2	演習	2		○	○			○					
	保育内容指導法(言葉)	0K120104	2	演習	2		○	○			○					
	保育内容指導法(表現)	0K220105	2	演習	2		○	○				○				
	教育の方法	0K210017	2	講義	2		○				○					
	幼児と健康	0K210021	1	演習		1	○	○			○					
	幼児と人間関係	0K210022	1	演習		1	○	○			○					
	幼児と環境	0K110003	1	演習		1	○	○	○							
	幼児と言葉	0K110004	1	演習		1	○	○	○							
	幼児と表現	0K210005	1	演習		1	○	○			○					
	幼児音楽Ⅰ	0K110006	1	演習		1	△	△	○							
	幼児音楽Ⅱ	0K120007	1	演習		1	△	△		○						
	幼児音楽Ⅲ	0K210011	1	演習		1					○					
	幼児音楽Ⅳ	0K220012	1	演習		1						○				
	幼児造形Ⅰ	0K110008	1	演習		1	△	△	○							
	幼児造形Ⅱ	0K120008	1	演習		1	△	△		○						
	幼児体育Ⅰ	0K110009	1	演習		1	△	△	○							
	幼児体育Ⅱ	0K120010	1	演習		1	△	△		○						
	児童文化Ⅰ	0K411011	2	演習		2	△	○							○	
	子どもの保健	0K210018	2	講義	2		○				○					
	子どもの健康と安全	0K220019	1	演習		1	○					○				
	子どもの食と栄養	0K210020	2	演習	2		○				○					
	障害児保育	0K220021	2	演習	2		○				○					
	乳児保育Ⅰ	0K220022	2	講義	2		○				○					
	乳児保育Ⅱ	0K410023	1	演習		1	○								○	
	教育相談	0K420024	1	講義		1	○									○
	子育て支援	0K410025	1	演習	1			○							○	
	海外の保育	0K210031	2	講義	2		○			○						
国際教養科目	多文化共生研究	0K131001	2	講義	2		△		○							
	地域研究Ⅰ	0K221002	2	講義	2						○					
	地域研究Ⅱ	0K131003	2	講義					○							
	地域研究Ⅲ	0K211004	2	講義						○						
	地域研究Ⅳ	0K211005	2	講義							○					
	地域研究Ⅴ	0K221006	2	講義								○				
	地域研究Ⅵ	0K211007	2	講義									○			
	こたばのメカニズム	0K411010	2	講義	2										○	
	Teaching English for Children	0K131201	2	講義		2				○						
	チームビルディング実践	0K211102	2	講義		2					○					
	Study Abroad Preparation	0K221301	1	演習	1							○				
	Basic Communication in English I	0K131103	1	演習	1					○						
	Basic Communication in English II	0K121104	1	演習	1						○					
	Intermediate Communication in English I	0K211105	1	演習	1							○				
	Intermediate Communication in English II	0K221106	1	演習	1								○			
	海外語学研修	0K331302	5	演習	5									○	○	
	海外保育留学	0K331303	10	実習	10									○	○	
	国際教養総論	0K411304	2	演習	2											○
実習科目	教育実習入門	0K122001	1	実習	1		○			○						
	教育実習Ⅰ	0K222003	2	実習		2	○				○					
	教育実習Ⅱ	0K422005	2	実習		2	○					○				○
	教育実習指導Ⅰ	0K212002	1	講義		1	○				○					
	教育実習指導Ⅱ	0K412004	1	講義		1	○									○
	教職実践演習(幼)	0K422006	2	演習		2	○									○
	保育実践演習	0K412109	2	実習	2			○								○
	保育実習Ⅰ(保育所)	0K322102	2	実習	2			○							○	
	保育実習Ⅰ(施設)	0K322104	2	実習	2									○	○	
	保育実習Ⅱ	0K412106	2	実習	2			△							○	
	保育実習Ⅲ	0K412108	2	実習	2			△							○	
	保育実習指導Ⅰ(保育所)	0K322101	1	演習		1	○									
	保育実習指導Ⅰ(施設)	0K322103	1	演習		1	○							○		
	保育実習指導Ⅱ	0K412105	1	演習		1	△								○	
	保育実習指導Ⅲ	0K412107	1	演習		1	△								○	
	海外保育フィールド・スタディ	0K122201	2	実習	2				○							
	海外幼児教育インターンシップ	0K122202	2	実習		2				○						
演習科目	総合演習Ⅰ	0K123001	1	演習	1						○					
	総合演習Ⅱ	0K223002	1	演習	1							○		○	○	
	総合演習Ⅲ	0K313001	1	演習	1								○	○		
	卒業研究演習Ⅰ	0K413101	1	演習	1										○	
	卒業研究演習Ⅱ	0K423102	1	演習	1											○
	卒業研究演習Ⅲ	0K423103	2	演習	2											○

位こ
以上から
選択必
要

ディプロマポリシー（DP）に基づく学修指標とルーブリック、カリキュラムマップ

ディプロマポリシー（DP）に基づく学修指標とルーブリック

〇教育保育学科

教育保育学科DPと学修成果指標		
教育保育学科DP		学修成果の指標
DP1 高い学修意欲や永続的な自己開発意欲を踏まえて、自主的・主体的に学び活動する力を身につけている。	→	主体的に学ぼうとする力
DP2 豊かな人間性と人間理解、豊かなコミュニケーション能力・自己表現能力・共感能力、信頼されうる社会的モラル等を踏まえて、他者と協力・協同して学び合う力を身につけている。	→	協同的に学び合う力
DP3 教育・保育に関する課題を発見・理解するために必要な、豊かな教養、専門的な知識・技術を身につけている。	→	知識・技能
DP4 教育・保育に関する課題を分析・解決する力として、必要な情報を収集・選択・活用する思考力、判断力や、的確に他者へ伝える表現力を身につけている。	→	思考力・判断力・表現力

専門教育科目共通

教育保育学科の専門教育科目ルーブリック						
DPに基づく学修指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとすることに消極的である。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	教育・保育の専門職として求められる高度な知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の高度な知識や技能を習得している。	教育・保育の高度な知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する教育・保育の知識や技能を習得している。	教育・保育に関し、一定の知識や技能の習得している。	教育・保育に関する一定の知識や技能を習得できていない。
思考力・判断力・表現力	教育・保育の専門職として求められる高度な知識や技能に基づき、物事の中から問題を見出し、解決につなげていく思考力を身につけて、精査した情報を基に自分の考えを形成し、意味や価値を創造していく表現力を身につけている。	自ら現実の教育・保育に関する問題を見出し、提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	自ら現実の教育・保育に関する問題を見出し、提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育に関する問題を見出し、提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

区分共通

教育・保育の本質・目的に関する科目ルーブリック						
DPに基づく学修指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようすることに消極的である。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の本質や目的に関する高度な知識や技能を習得している。	教育・保育の本質や目的に関する高度な知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を習得している。	教育・保育の本質や目的に関する一定の知識や技能を習得している。	教育・保育の本質や目的に関する一定の知識や技能を習得していない。
思考力・判断力・表現力	教育・保育の専門職として求められる教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を基に、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の本質や目的に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	自ら現実の教育・保育の本質や目的に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の本質や目的に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育の本質や目的に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育の本質や目的に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

教育・保育の対象理解に関する科目ルーブリック						
DPに基づく学修指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	乳幼児及び児童の発達過程や学習過程、また個別の支援を必要とする子どもなど、教育・保育の対象理解に関して、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	教育・保育の対象理解に関して、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	教育・保育の対象理解に関して、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育の対象理解に関して、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育の対象理解に関して、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようすることに消極的である。	教育・保育の対象理解に関して、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をするなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	乳幼児及び児童の発達過程や学習過程、また個別の支援を必要とする子どもなど、教育・保育の対象理解に関して、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことができる力を身につけている。	教育・保育の対象理解に関して、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育の対象理解に関して、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いをしようとしている。	教育・保育の対象理解に関して、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	教育・保育の対象理解に関して、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	教育・保育の対象理解に関して、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	乳幼児及び児童の発達過程や学習過程、また個別の支援を必要とする子どもなど、教育・保育の対象理解に関する知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の対象理解に関する高度な知識や技能を習得し、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の対象理解に関する高度な知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する教育・保育の対象理解に関する知識や技能を習得している。	教育・保育の対象理解に関する一定の知識や技能を習得している。	教育・保育の対象理解に関する一定の知識や技能を習得していない。
思考力・判断力・表現力	教育・保育の対象理解に関する知識や技能を基に、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の対象となる子どもに関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	自ら現実の教育・保育の対象となる子どもに関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の対象となる子どもに関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育の対象となる子どもに関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育の対象となる子どもに関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

教育・保育の内容・方法に関する科目ルーブリック						
DPに基づく学修指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようすることに消極的である。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をするなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いをしようとしている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の実践内容や方法に関する高度な知識や技能を習得し、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の実践内容や方法に関する高度な知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する教育・保育の実践内容や方法に関する知識や技能を習得している。	教育・保育の実践内容や方法に関し、一定の知識や技能を習得している。	教育・保育の実践内容や方法に関し、一定の知識や技能を習得していない。
思考力・判断力・表現力	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法に関する知識や技能を基に、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の内容や方法に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	自ら現実の教育・保育の内容や方法に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の内容や方法に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育の内容や方法に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育の内容や方法に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

特別支援教育に関する科目ルーブリック						
DPに基 づく学修 指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に 学ぼうと する力	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けようとしている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとすることに消極的である。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をするなどの力を身につけていない。
協同的に 学び合う 力	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けようとしている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学ぶことに消極的である。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	特別支援教育に関する高度な知識や技能を習得し、科目間の関連性を理解している。	特別支援教育に関する高度な知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する特別支援教育に関する知識や技能を習得している。	特別支援教育に関する一定の知識や技能を習得している。	特別支援教育に関する一定の知識や技能を習得していない。
思考力・ 判断力・ 表現力	教育・保育の専門職として求められる特別の支援を必要とする乳幼児・児童に関する知識や技能を基に、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	自ら特別の支援を必要とする乳幼児・児童に関する問題を発見、提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	自ら特別の支援を必要とする乳幼児・児童に関する問題を発見、提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	自ら特別の支援を必要とする乳幼児・児童に関する問題を発見、提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、特別の支援を必要とする乳幼児・児童に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、特別の支援を必要とする乳幼児・児童に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

体験学習科目ルーブリック						
DPに基 づく学修 指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に 学ぼうと する力	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする態度を有している。力を身につけている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けようとしている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとすることに消極的である。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に 学び合う 力	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けようとしている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	教育・保育の実習等を通して体系的に学修した知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の実習等を通して体系的に学修した知識や技能を習得し、科目間の関連性を理解している。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する教育・保育に関わる実践について、実習等を通して、知識や技能を習得している。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修し、一定の知識や技能の習得している。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体系的に学修し、一定の知識や技能の習得していない。
思考力・ 判断力・ 表現力	教育・保育の実習等体験学習を通して、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	教育・保育の実習等体験学習を通して、問題を発見、提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	教育・保育の実習等体験学習を通して、問題を発見、提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	教育・保育の実習等体験学習を通して、問題を発見、提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	教育・保育の実習等体験学習を通して、教育・保育の現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	教育・保育の実習等体験学習を通して、教育・保育の現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

総合的な学修・研究科目ルーブリック						
DPに基づく学修指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けようとしている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようすることに消極的である。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けようとしている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究し、知識や技能を習得し、科目間の関連性を理解している。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究し、知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究し、知識や技能を習得している。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究し、一定の知識や技能を習得している。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究し、一定の知識や技能を習得していない。
思考力・判断力・表現力	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して、問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して、問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して、教育・保育の現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して、教育・保育の現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

○国際教養こども学科

区分共通

こども教育科目のルーブリック						
学修指標 (DP)	学修目標の説明	AA	A	B	C	F
1. 国際社会で活躍するために必要な幅広い視野と知識と教養を持ち	国内及び諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る能力を持つ	国内及び諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を大変量に持ち、国際社会において保育者として活躍する豊かな能力を持つ	国内及び諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を量に持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る豊かな能力を持つ	国内及び諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る能力を持つ	国内及び諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を一定程度持ち、国際社会において保育者として活躍することが最低限可能な能力を持つ	国内及び諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養が不足し、国際社会において保育者として活躍することが出来る能力を有していない
2. 各国の保育の比較を通して身につく、自らのより望ましい保育のあり方について考察する力	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を理解し、諸外国のそれらとの比較を通して自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を深く理解し、諸外国のそれらとの比較を通して根拠に基づいた自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を大変量に思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を深く理解し、諸外国のそれらとの比較を通して根拠に基づいた自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を量に思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を理解し、諸外国のそれらとの比較を通して自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を一定程度理解し、諸外国のそれらとの比較を通してある程度の自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を理解が不足し、諸外国のそれらとの比較を通して自分の考えを持つに至らず、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができない
3. 国内外での実習と卒業研究に取り組むことで身につく、課題を見出し解決する力と論理的思考力	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を見出し、根拠を持って論理的に考察し、その課題を解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を大体的に見出し、豊富な客観的根拠を持って論理的に思考し、その課題を徹底的に解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を的確に見出し、客観的根拠を持って論理的に思考し、その課題を適切に解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を見出し、根拠を持って論理的に思考し、その課題を解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を一定程度度合い、論理的な思考し、その課題をやっと解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことが、グローバル及びローカルな視点における課題を度々見出すに至らず、論理的な思考し、課題の解決が出来ない
4. 多文化共生社会に生きる子どもと保護者の支援を行うのに必要な異文化受容能力	多文化共生社会における保育・幼児教育・保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解があり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育・保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解が大量であり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育・保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解が量にあり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育・保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解があり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育・保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解が一定程度あり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育・保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解が不足し、それを受容することができない
5. グローバル時代に対応できる日本語及び英語をコアとする外国語による高いコミュニケーション能力	グローバル時代の高度な言語コミュニケーションに対応できる実践的な語学力を身につける。	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の差を踏まえた知識と有用な知識を持ち、4技能を統合し様々な状況に応じた的確かつ多様な高次元での意思疎通が無難に円滑にできる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の差を踏まえた知識と有用な知識を持ち、4技能を統合し様々な状況に応じた的確かつ多様な高次元での意思疎通が円滑にできる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を持ち、4技能を統合し様々な状況に応じた意思疎通ができる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を一定程度持ち、4技能を統合し様々な状況に応じた最低限の意思疎通ができる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識が不足し、4技能を統合し様々な状況に応じた意思疎通ができない

国際教養科目のルーブリック

学修指標 (DP)	学修目標の説明	AA	A	B	C	F
1. 国際社会で活躍するために必要な幅広い視野と知識と教養を持ち	諸外国に関する知識、幅広い視野と教養を持ち、国際社会において自立した社会人として活躍することが出来る能力を持つ	諸外国に関する知識、幅広い視野と教養を大変量に持ち、国際社会において自立した社会人として活躍する豊かな能力を持つ	諸外国に関する知識、幅広い視野と教養を量に持ち、国際社会において自立した社会人として活躍することが出来る豊かな能力を持つ	諸外国に関する知識、幅広い視野と教養を持ち、国際社会において自立した社会人として活躍することが出来る能力を持つ	諸外国に関する知識、幅広い視野と教養を一定程度持ち、国際社会において自立した社会人として活躍することが最大限可能な能力を持つ	諸外国に関する知識、幅広い視野と教養が不足し、国際社会において自立した社会人として活躍することが出来る能力を有していない
2. 各国の保育の比較を通して身につく、自らのより望ましい保育のあり方について考察する力	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を理解し、諸外国のそれらとの比較を通して自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を深く理解し、諸外国のそれらとの比較を通して根拠に基づいた自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を大変量に思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を深く理解し、諸外国のそれらとの比較を通して根拠に基づいた自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を量に思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を理解し、諸外国のそれらとの比較を通して自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を一定程度理解し、諸外国のそれらとの比較を通してある程度の自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を理解が不足し、諸外国のそれらとの比較を通して自分の考えを持つに至らず、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができない
3. 国内外での実習と卒業研究に取り組むことで身につく、課題を見出し解決する力と論理的思考力	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を見出し、根拠を持って論理的に考察し、その課題を解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を大体的に見出し、豊富な客観的根拠を持って論理的に思考し、その課題を徹底的に解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を的確に見出し、客観的根拠を持って論理的に思考し、その課題を適切に解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を見出し、根拠を持って論理的に思考し、その課題を解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を一定程度度合い、論理的な思考し、その課題をやっと解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことが、グローバル及びローカルな視点における課題を度々見出すに至らず、論理的な思考し、課題の解決が出来ない
4. 多文化共生社会に生きる子どもと保護者の支援を行うのに必要な異文化受容能力	多文化共生社会における保育・幼児教育・保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解があり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育・保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解が大量であり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育・保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解が量にあり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育・保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解があり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育・保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解が一定程度あり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育・保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解が不足し、それを受容することができない、または受容するに至らない
5. グローバル時代に対応できる日本語及び英語をコアとする外国語による高いコミュニケーション能力	グローバル時代の高度な言語コミュニケーションに対応できる実践的な語学力を身につける。	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の差を踏まえた知識と有用な知識を持ち、4技能を統合し様々な状況に応じた的確かつ多様な高次元での意思疎通が無難に円滑にできる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の差を踏まえた知識と有用な知識を持ち、4技能を統合し様々な状況に応じた的確かつ多様な高次元での意思疎通が円滑にできる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を持ち、4技能を統合し様々な状況に応じた意思疎通ができる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を一定程度持ち、4技能を統合し様々な状況に応じた最低限の意思疎通ができる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識が不足し、4技能を統合し様々な状況に応じた意思疎通ができない

実習科目のルーブリック						
学修指標 (DP)	学修目標の説明	AA	A	B	C	F
1. 国際社会で活躍するために必要な幅広い視野と知識と教養	実習等を通して国内及び諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る能力を持つ	実習等を通して国内及び諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る豊かな能力を持つ	実習等を通して国内及び諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る豊かな能力を持つ	実習等を通して国内及び諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る能力を持つ	実習等を通して国内及び諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る最低限可能な能力を持つ	実習等を通して国内及び諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る能力を有していない
2. 各国の保育の比較を通して身につく、自らのより望ましい保育のあり方について考察する力	実習等を通して保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を理解し、諸外国のそれらとの比較を通して自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができる	実習等を通して保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を深く理解し、諸外国のそれらとの比較を通して根拠に基づいた自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を大変量かに思い描くことができる	実習等を通して保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容を深く理解し、諸外国のそれらとの比較を通して根拠に基づいた自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができる	実習等を通して保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容を理解し、諸外国のそれらとの比較を通して自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができる	実習等を通して保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容を方法一定程度理解し、諸外国のそれらとの比較を通してある程度自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことがやっとなることができる	実習等を通して保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容を方法の理解が不足し、諸外国のそれらとの比較を通して自分の考えを持つに至らず、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができない
3. 国内外の実習と卒業研究に取り組むことで、専門的に、課題を見出し解決する力と論理的思考力	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を見出し、客観的に論理的に思考し、その課題を解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を大まかに見出し、客観的な客観的根拠を持って論理的に思考し、その課題を場面に応じて適切に解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を的確に見出し、客観的根拠を持って論理的に思考し、その課題を適切に解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を見出し、根拠を持って論理的に思考し、その課題を解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を一定程度見出し、論理的に思考し、その課題をやっとな解決することができる	国内外の実習やその準備に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を見出すに至らず、論理的な思考に欠け、課題の解決が出来ない
4. 多文化共生社会に生きる子どもと保護者の支援を行うのに必要な異文化受容能力	実習等を通して多文化共生社会における保育・幼児教育、保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差を複合的な理解があり、それを受容することができる	実習等を通して多文化共生社会における保育・幼児教育、保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差を複合的な理解があり、それを深く受容することが出来る能力に大変長けている	実習等を通して多文化共生社会における保育・幼児教育、保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差を複合的な理解があり、それを受容することができる能力に長けている	実習等を通して多文化共生社会における保育・幼児教育、保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差を複合的な理解があり、それを受容することができる	実習等を通して多文化共生社会における保育・幼児教育、保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差を複合的な理解があり、それを受容することが一定程度できる	実習等を通して多文化共生社会における保育・幼児教育、保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差の理解と、それを受容する能力が不足している
5. グローバル時代に対応できる日本語及び英語を中心とする外国語による高いコミュニケーション能力	実習等において英語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を踏まえ、4技能を統合し様々な状況に応じた的確かつ多様な意思疎通が円滑にできる	実習等において英語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を踏まえ、4技能を統合し様々な状況に応じた的確かつ多様な意思疎通が円滑にできる	実習等において英語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を踏まえ、4技能を統合し様々な状況に応じた的確かつ多様な意思疎通が円滑にできる	実習等において英語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を一定程度有し、4技能を統合し様々な状況に応じた意思疎通ができる	実習等において英語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を一定程度有し、4技能を統合し様々な状況に応じた最低限の意思疎通ができる	実習等において英語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識が不足し、4技能を統合し様々な状況に応じた意思疎通ができない

※「海外保育フィールド・スタディ」と「海外幼児教育インターンシップ」については、「演習科目」のルーブリックを参照

演習科目のルーブリック						
学修指標 (DP)	学修目標の説明	AA	A	B	C	F
1. 国際社会で活躍するために必要な幅広い視野と知識と教養	諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る能力を持つ	諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を大変量かに持ち、国際社会において保育者として多様な活躍することが出来る豊かな能力を持つ	諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を豊富に持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る豊かな能力を持つ	諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る能力を持つ	諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養を一定程度持ち、国際社会において保育者として活躍することが出来る最低限可能な能力を持つ	諸外国の保育・幼児教育に関する知識、幅広い視野と教養が不足し、国際社会において保育者として活躍することが出来る能力を有していない
2. 各国の保育の比較を通して身につく、自らのより望ましい保育のあり方について考察する力	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を理解し、諸外国のそれらとの比較を通して自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を大変深く理解し、諸外国のそれらとの比較を通して根拠に基づいた自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を大変量かに思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を深く理解し、諸外国のそれらとの比較を通して根拠に基づいた自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を理解し、諸外国のそれらとの比較を通して自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法を一定程度理解し、諸外国のそれらとの比較を通してある程度自分の考えを持ち、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことがやっとなることができる	保育・幼児教育の対象・歴史・現状・制度・内容・方法の理解が不足し、諸外国のそれらとの比較を通して自分の考えを持つに至らず、これからの保育・幼児教育の理想のあり方を思い描くことができない
3. 国内外の実習と卒業研究に取り組むことで、専門的に、課題を見出し解決する力と論理的思考力	国内外の実習やその準備、卒業研究に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を見出し、根拠を持って論理的に思考し、その課題を解決することができる	国内外の実習やその準備、卒業研究に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を大まかに見出し、客観的な客観的根拠を持って論理的に思考し、その課題を場面に応じて適切に解決することができる	国内外の実習やその準備、卒業研究に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を的確に見出し、客観的根拠を持って論理的に思考し、その課題を適切に解決することができる	国内外の実習やその準備、卒業研究に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を見出し、根拠を持って論理的に思考し、その課題を解決することができる	国内外の実習やその準備、卒業研究に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を一定程度見出し、論理的に思考し、その課題をやっとな解決することができる	国内外の実習やその準備、卒業研究に取り組むことで、グローバル及びローカルな視点における課題を見出すに至らず、論理的な思考に欠け、課題の解決が出来ない
4. 多文化共生社会に生きる子どもと保護者の支援を行うのに必要な異文化受容能力	多文化共生社会における保育・幼児教育、保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解があり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育、保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解があり、それを深く受容することが出来る	多文化共生社会における保育・幼児教育、保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解があり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育、保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解があり、それを受容することができる	多文化共生社会における保育・幼児教育、保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差に複合的な理解が一定程度あり、それを受容することが最低限である	多文化共生社会における保育・幼児教育、保護者支援をするにあたり、自己の文化と様々な文化の共通性や差の理解が不足し、それを受容することができない、または受容するに至らない
5. グローバル時代に対応できる日本語及び英語を中心とする外国語による高いコミュニケーション能力	グローバル時代の高度な言語コミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を踏まえ、4技能を統合し様々な状況に応じた的確かつ多様な意思疎通が無難に円滑にできる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を踏まえ、4技能を統合し様々な状況に応じた的確かつ多様な意思疎通が円滑にできる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を踏まえ、4技能を統合し様々な状況に応じた的確かつ多様な意思疎通が円滑にできる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を一定程度有し、4技能を統合し様々な状況に応じた意思疎通ができる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識を一定程度有し、4技能を統合し様々な状況に応じた最低限の意思疎通ができる	言語でのコミュニケーションにおいて、母国語と外国語の知識が不足し、4技能を統合し様々な状況に応じた意思疎通ができない

カリキュラムマップ

○教育保育学科

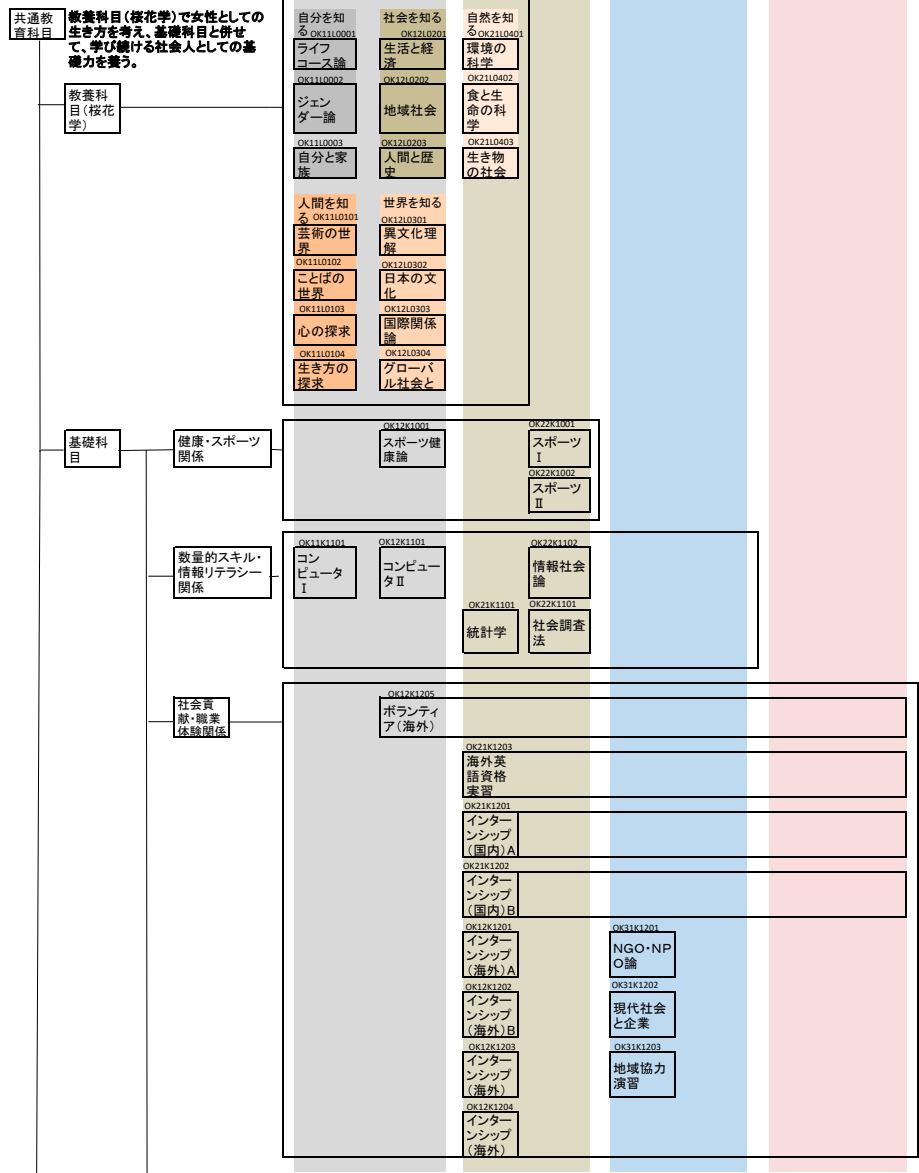
◎深い関連がある、○関連がある

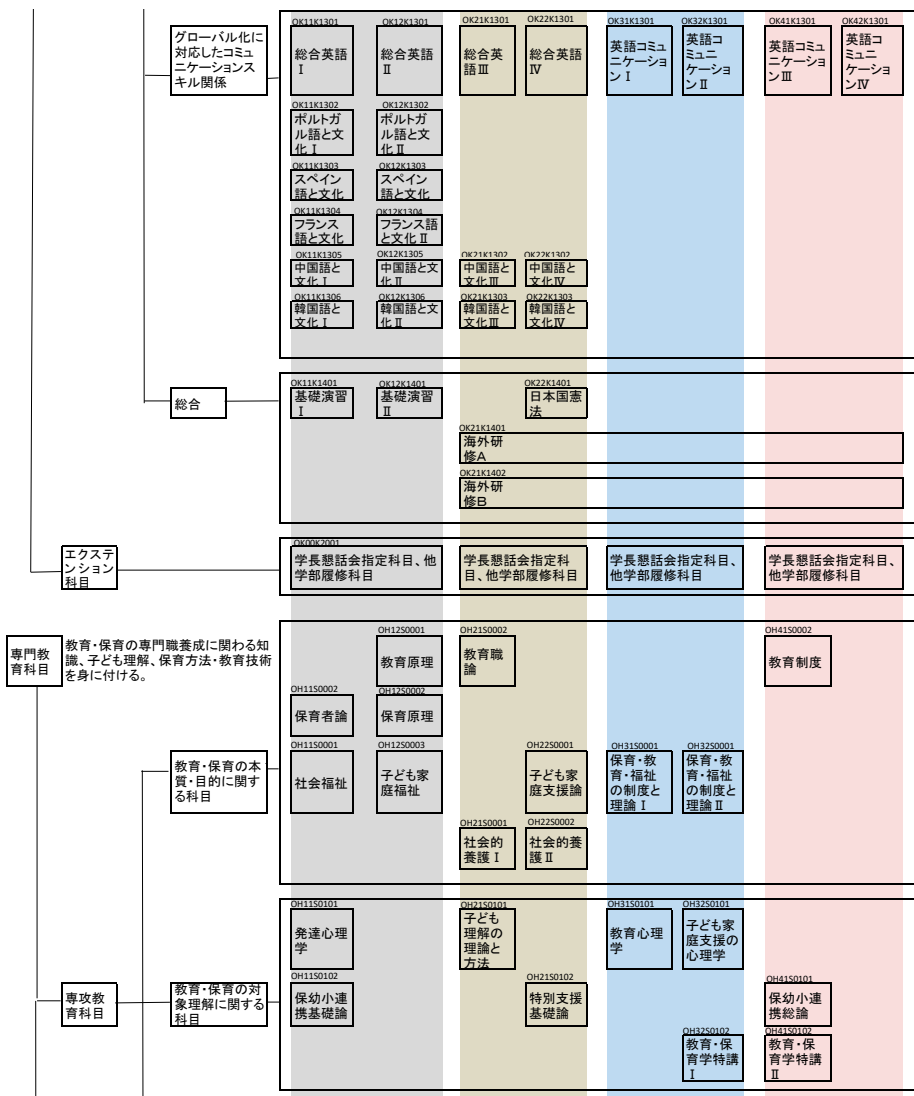
科目群	科目	科目ナンバー	主体的に学ぼうとする力	協同的に学び合う力	知識・技能	思考力・判断力・表現力
教育・保育に関する科目群・目的	教育原理	0H12S0001			◎	○
	保育原理	0H12S0002			◎	○
	子ども家庭福祉	0H12S0003			◎	○
	保育・教育・福祉の制度と理論Ⅰ	0H31S0001			◎	○
	保育・教育・福祉の制度と理論Ⅱ	0H32S0001	○	◎		
	社会福祉	0H11S0001			◎	○
	子ども家庭支援論	0H22S0001			◎	○
	社会的養護Ⅰ	0H21S0001			◎	○
	社会的養護Ⅱ	0H22S0002	○			◎
	保育学論	0H11S0002			◎	○
理解・保育に関する科目群・対象	教育職論	0H21S0002			◎	○
	教育制度	0H41S0001			◎	○
	発達心理学	0H11S0101			◎	○
	子ども家庭支援の心理学	0H32S0101			◎	○
	子ども理解の理論と方法	0H21S0101			◎	○
	教育心理学	0H31S0101			◎	○
	特別支援基礎論	0H21S0102			◎	○
	保幼小連携基礎論	0H11S0102			◎	○
	保幼小連携総論	0H41S0101	○			◎
	教育・保育学特講Ⅰ	0H32S0102			◎	○
教育・保育の内容・方法に関する科目群	教育・保育学特講Ⅱ	0H41S0102	○			◎
	教育課程論	0H22S0201			◎	○
	保育カリキュラム論	0H32S0201			◎	○
	保育内容総論	0H11S0201			◎	○
	保育内容指導法（健康）	0H32S0202	◎			○
	保育内容指導法（人間関係）	0H22S0202	◎			○
	保育内容指導法（環境）	0H12S0201	◎			○
	保育内容指導法（言葉）	0H12S0202	◎			○
	保育内容指導法（表現）	0H22S0203	◎			○
	国語科教育法	0H22S0204		○		◎
	社会科教育法	0H32S0203		○		◎
	算数科教育法	0H22S0205		○		◎
	理科教育法	0H32S0204		○		◎
	生活科教育法	0H22S0206		○		◎
	音楽科教育法	0H42S0201		○		◎
	図画工作科教育法	0H22S0207		○		◎
	家庭科教育法	0H42S0202		○		◎
	体育科教育法	0H32S0205		○		◎
	英語科教育法	0H42S0203		○		◎
	道徳教育の指導法	0H21S0201		○		◎
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	0H41S0201		○		◎
	生徒・進路指導論	0H42S0204		◎		○
	教育の方法	0H21S0202		◎		○
	ICT 活用の理論と実践	0H21S0203			◎	○
	幼児と健康	0H31S0201		◎		○
	幼児と人間関係	0H21S0204		◎		○
	幼児と環境	0H11S0202		◎		○
	幼児と音楽	0H11S0203		◎		○
	幼児と表現	0H21S0205		◎		○
	国語	0H21S0206		◎		○
	社会	0H31S0202		◎		○
	算数	0H21S0207		◎		○
	理科	0H31S0203		◎		○
	生活	0H21S0208		◎		○
	音楽	0H41S0202		◎		○
	図画工作	0H21S0209		◎		○
	家庭	0H41S0203		◎		○
	体育	0H31S0204		◎		○
	英語	0H41S0204		◎		○
	幼児音楽ⅠA	0H11S0204	◎			○
	幼児音楽ⅠB	0H12S0203	◎			○
	幼児音楽Ⅱ	0H21S0210	◎			○
	幼児音楽Ⅲ	0H31S0205	◎			○
	ピアノ/演習ⅠA	0H11S0205			◎	○
	ピアノ/演習ⅠB	0H12S0204			◎	○
	ピアノ/演習Ⅱ	0H22S0208			◎	○
	表現の探求（造形）	0H31S0206	○	◎		
	表現の探求（音楽）	0H41S0205	○	◎		

教育・保育の内容・方法に関する科目群	幼児造形Ⅰ	0H11S0206	㊦			○
	幼児造形Ⅱ	0H12S0205	㊦			○
	幼児体育Ⅰ	0H11S0207	㊦			○
	幼児体育Ⅱ	0H41S0206	㊦			○
	ネイチャーフーク	0H31S0207	○	㊦		
	児童文化	0H21S0211	○		㊦	
	子どもの保健	0H31S0208			㊦	○
	子どもの健康と安全	0H32S0206	○			㊦
	子どもの食と栄養Ⅰ	0H31S0209			㊦	○
	子どもの食と栄養Ⅱ	0H32S0207	○			㊦
	障害児保育	0H31S0210	○		㊦	
	乳児保育Ⅰ	0H22S0209			㊦	○
	乳児保育Ⅱ	0H31S0211	○			㊦
	保育環境マネジメント	0H41S0207		㊦		
	子ども学演習	0H31S0212	○	㊦		
	教育相談A	0H42S0205			㊦	○
	教育相談B	0H42S0206			㊦	○
	子育て支援	0H41S0208	○			㊦
	親と子どもの発達支援	0H32S0208	○	㊦		
	チーム保育論	0H42S0207	○	㊦		
	医療保育Ⅰ	0H32S0209			㊦	○
	医療保育Ⅱ	0H41S0209	㊦			○
	インクルーシブ保育論	0H32S0210	○	㊦		
	多文化共生保育・教育論	0H32S0211			㊦	○
特別支援教育に関する科目群	特別支援教育論	0H22S0301		㊦		○
	知的障害児の心理・生理・病理	0H31S0301		㊦		○
	肢体不自由児の心理・生理・病理	0H31S0302		㊦		○
	病弱児の心理・生理・病理	0H31S0303		㊦		○
	知的障害教育論Ⅰ	0H32S0301	○		㊦	
	知的障害教育論Ⅱ	0H41S0301	○		㊦	
	肢体不自由教育論Ⅰ	0H32S0302	○		㊦	
	肢体不自由教育論Ⅱ	0H42S0301		○		㊦
	病弱教育論	0H32S0303			○	㊦
	視覚障害児の心理・生理・病理	0H31S0304		㊦		○
	聴覚障害児の心理・生理・病理	0H42S0302		㊦		○
	発達障害の理解	0H41S0302		㊦		○
	視覚障害教育論	0H31S0305		○		㊦
	聴覚障害教育論	0H42S0303			○	㊦
	重複障害等教育論	0H41S0303			○	㊦
体験学習科目群	教育実習Ⅰ	0H12S1001	㊦			○
	教育実習Ⅱ	0H32S1001	㊦			○
	教育実習Ⅲ	0H41S1001	㊦			○
	教育実習Ⅳ	0H42S1001	㊦			○
	教育実習指導Ⅰ	0H11S1001	㊦			○
	教育実習指導Ⅱ	0H32S1002	㊦			○
	教育実習指導Ⅲ	0H41S1002	㊦			○
	教育実習指導Ⅳ	0H41S1003	㊦			○
	教職実践演習（幼・小）	0H42S1002	○			㊦
	保育実習Ⅰ（保育所）	0H31S1001	㊦			○
	保育実習Ⅰ（施設）	0H22S1001	㊦			○
	保育実習Ⅱ	0H41S1004	㊦			○
	保育実習Ⅲ	0H41S1005	㊦			○
	保育実習指導Ⅰ（保育所）	0H31S1002	㊦			○
	保育実習指導Ⅰ（施設）	0H22S1002	㊦			○
	保育実習指導Ⅱ	0H41S1006	㊦			○
	保育実習指導Ⅲ	0H41S1007	㊦			○
	保育実践演習	0H42S1003		○		㊦
	学校インターンシップ指導	0H21S1001	㊦			○
	学校インターンシップ	0H22S1003	㊦			○
	海外幼児教育インターンシップ	0H12S1002	㊦			○
修・総合的な研究科目群	総合演習ⅠA	0H21S2001	○	㊦		
	総合演習ⅠB	0H22S2001	○	㊦		
	総合演習ⅡA	0H31S2001	㊦	○		
	総合演習ⅡB	0H32S2001	㊦	○		
	卒業研究演習Ⅰ	0H41S2001	㊦	○		
	卒業研究演習Ⅱ	0H42S2001	㊦	○		
	卒業研究	0H42S2002	㊦	○		

○国際教養こども学科

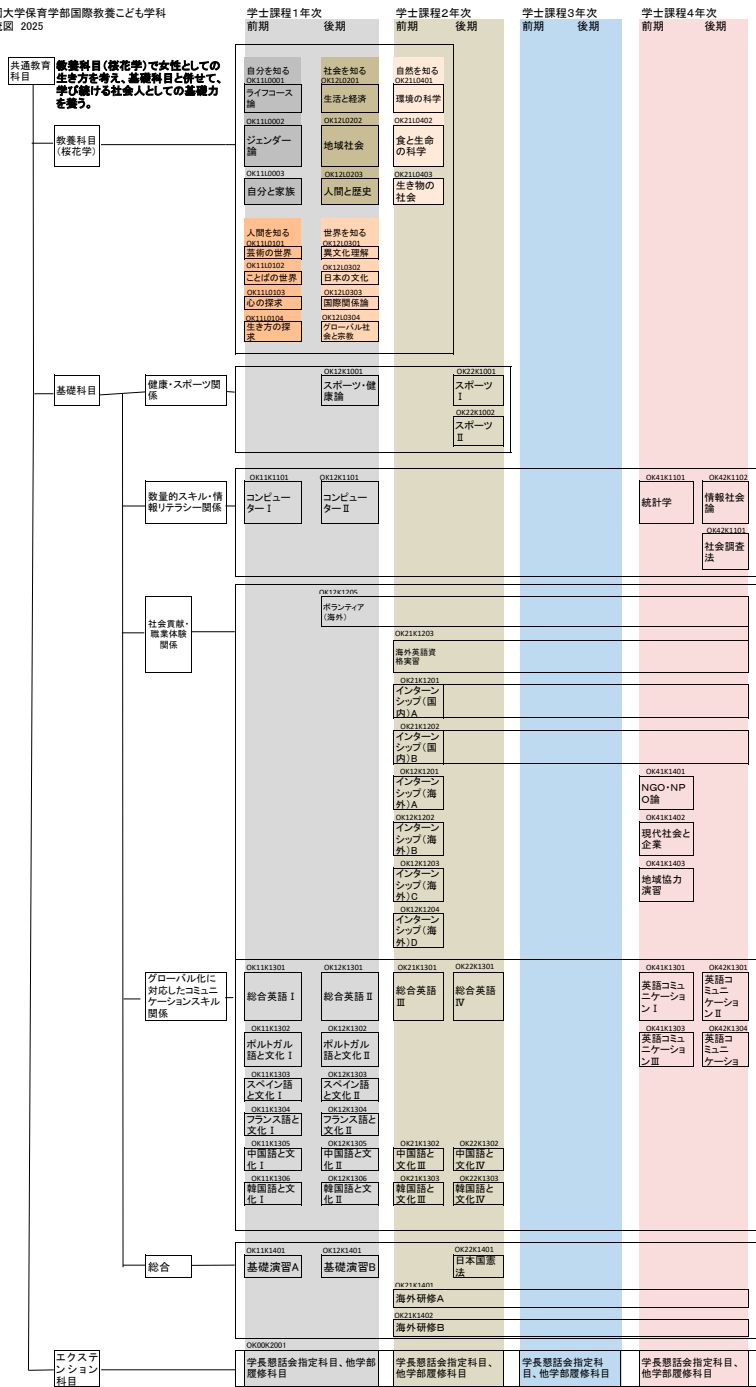
区分	授業科目	ナンバリングコード	1年		2年		3年		4年		1. 国際社会で活躍するために必要な幅広い情知と倫理教育	2. 各国の発展の比較をめぐり、自らのよきところを模索し、自らのよきあり方について考察する力	3. 国内・国外での実習に際し、課題を見出し、解決する力	4. 多文化共生社会に在りて、多様な価値観の尊重、必要となるコミュニケーション能力	5. グローバル時代に対応できる日本語能力及び英語能力	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専門教育科目	こども教育科目	保育原理	OK11S0001	○							◎	○				
		教育原理	OK12S0002		○							◎				
		子ども家庭福祉	OK12S0003		○							◎	○			
		社会福祉	OK11S0004	○								◎				
		子ども家庭支援論	OK22S0005				○					◎				
		社会的発達Ⅰ	OK21S0006				○					◎	○			
		社会的発達Ⅱ	OK22S0007									◎			○	
		保育者論	OK12S0008		○							◎	○			
		教育制度	OK41S0009							○			◎			
		発達心理学	OK11S0010	○								◎	○			
		子ども家庭支援の心理学	OK22S0011						○				◎			
		子ども理解の理論と方法	OK21S0012			○						◎	○			
		教育心理学	OK42S0013								○		○			
		特別支援基礎論	OK21S0014				○						○			
		保育者フェルダラシ	OK42S0015									◎	○			
		保育内容総論	OK11S0016	○								◎				
		保育内容指導法（健康）	OK22S0101					○								◎
		保育内容指導法（人間関係）	OK22S0102										○			
		保育内容指導法（環境）	OK12S0103			○							○			◎
		保育内容指導法（言葉）	OK12S0104			○							○			◎
		保育内容指導法（表現）	OK22S0105					○					○			◎
		教育の方法	OK21S0017				○					◎	○			
		幼児と健康	OK21S0201				○					◎	○			
		幼児と人間関係	OK21S0202				○					◎	○			
		幼児と環境	OK11S0003			○						◎	○			
		幼児と芸術	OK11S0004									◎	○			
		幼児と表現	OK21S0005				○						○			
		幼児音楽A	OK11S0006									◎	○			◎
		幼児音楽B	OK12S0007			○							○			◎
		幼児造形A	OK11S0008	○									○			◎
		幼児造形B	OK12S0009										○			◎
		幼児教育A	OK11S0010	○									○			◎
		幼児教育B	OK12S0011		○								○			◎
		児童文化	OK411S012									◎				○
		子どもの保健	OK21S0018			○							○			◎
		子どもの健康と安全	OK22S0019										○			○
		子どもの食と栄養	OK21S0020				○					◎	○			
		障害児保育	OK22S0021									◎				○
		乳児保育Ⅰ	OK22S0022									◎	○			
		乳児保育Ⅱ	OK41S0023										○			○
		教育相談	OK42S0024								○		◎			
		子育て支援	OK41S0025									◎				○
		海外の保育	OK21S0301				○						◎			
国際教養科目	多文化共生研究	OK11S1001									○	◎			○	
	地域研究Ⅰ オーストラリア	OK22S1002									◎				○	
	地域研究Ⅱ 日本	OK11S1003		○							◎				○	
	地域研究Ⅲ ヨーロッパ	OK21S1004									◎				○	
	地域研究Ⅳ アフリカ	OK21S1005			○						◎				○	
	地域研究Ⅴ アジア	OK22S1006									◎				○	
	地域研究Ⅵ アメリカ	OK21S1007				○					◎				○	
	ことばのメカニズム	OK41S1101							○		○				◎	
	Teaching English for Children	OK21S1201				○								○	◎	
	チームビルディング実践	OK11S1102				○								◎	○	
	Study Abroad Preparation	OK22S1301									○			◎		
	Basic Communication in English I	OK11S1103		○								◎			◎	
	Basic Communication in English II	OK12S1104			○							○			◎	
	Intermediate Communication in English I	OK21S1105				○						○			◎	
	Intermediate Communication in English II	OK22S1106										○			◎	
	海外語学研修	OK33S1302						○	○	○		○			◎	
	海外保育留学	OK33S1303							○	○		◎				
	実習科目	国際教養総論	OK41S1304									○	◎			◎
		教育実習入門	OK12S2001			○							○	○		◎
		教育実習Ⅰ	OK22S2003						○				◎			
教育実習Ⅱ		OK42S2005								○		◎				
教育実習指導Ⅰ		OK21S2002				○					○	◎				
教育実習指導Ⅱ		OK41S2004									○	◎				
職業実践実習（幼）		OK42S2006							○			◎				
保育実践実習		OK41S2109										○	◎			
保育実習Ⅰ（保育所）		OK32S2102									○	◎				
保育実習Ⅰ（施設）		OK32S2104								○		◎				
保育実習Ⅱ		OK41S2106									○	◎				
保育実習Ⅲ		OK41S2108										○	◎			
保育実習指導Ⅰ（保育所）		OK32S2101						○				○	◎			
保育実習指導Ⅰ（施設）		OK32S2103							○			○	◎			
保育実習指導Ⅱ		OK41S2105							○			○	◎			
保育実習指導Ⅲ		OK41S2107										○	◎			
海外保育フィールド・スタディ		OK11S2201	○	○								○			○	
海外幼児教育インターンシップ		OK12S2202			○							○			○	
演習科目		総合演習A	OK21S3001				○					○	◎			○
	総合演習B	OK22S3002							○			○	◎		○	
	総合演習C	OK31S3001							○			○	◎		○	
	卒業研究演習Ⅰ	OK41S3101								○		○	◎		○	
	卒業研究演習Ⅱ	OK42S3102								○		○	◎		○	
	卒業研究	OK42S3103									○	○	◎		○	

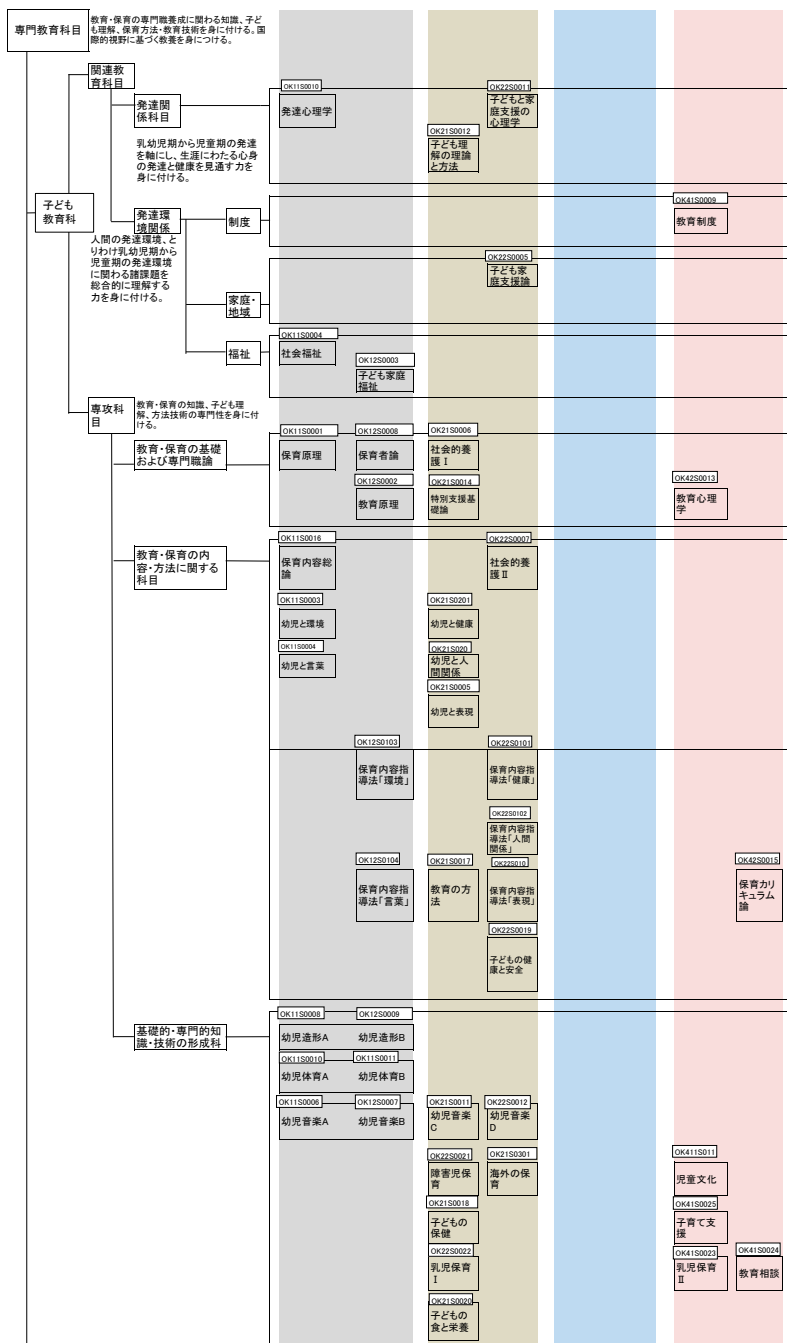


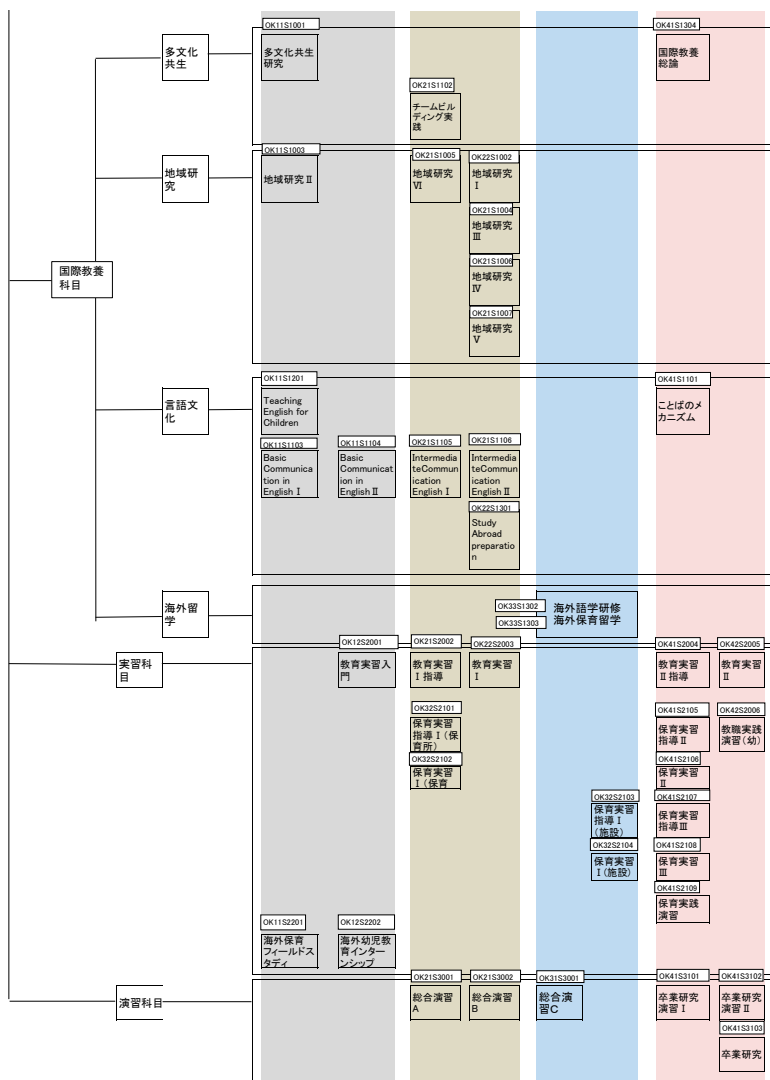


教育・保育の内容・方法に関する科目

OH1150201 保育内容 総論		OH2150207 教育の 方法	OH2250201 教育課程 論	OH3250201 保育カリ キュラム論			
		OH2150203 ICT活用 の理論 と実践					
OH1150203 幼児と言 葉	OH1250202 保育内容 指導法 (言葉)	OH2150206 国語	OH2250204 国語科教 育法				
OH1150202 幼児と環 境	OH1250201 保育内容 指導法 (環境)	OH2150204 幼児と人 間関係	OH2250202 保育内容 指導法 (人間関 係)	OH3150202 社会	OH3250203 社会科教 育法		
		OH2150208 生活	OH2250206 生活科教 育法	OH3150203 理科	OH3250204 理科教育 法		
				OH3250211 多文化共 生保育・ 教育論	OH4150204 英語	OH4250203 英語科教 育法	
		OH2150207 算数	OH2250205 算数科教 育法				
		OH2150201 道徳教 育の指 導法			OH4150201 特別活 動・総合 的な学習 の時間の 指導法	OH4250204 生徒・進 路指導論	
OH1150204 幼児音楽 ⅠA	OH1250203 幼児音楽 ⅠB	OH2150210 幼児音楽 Ⅱ	OH2250208 ピアノ演 習Ⅱ	OH3150205 幼児音楽 Ⅲ			
OH1150205 ピアノ演 習ⅠA	OH1250204 ピアノ演 習ⅠB	OH2150205 幼児と 表現	OH2250203 保育内容 指導法 (表現)	OH3150206 表現の探 求(造形)			
OH1150206 幼児造形 Ⅰ	OH1250205 幼児造形 Ⅱ	OH2150209 図画工 作	OH2250207 図画工作 科教育法	OH3150204 体育	OH3250205 体育科教 育法	OH4150205 表現の探 求(音楽)	
		OH2150211 児童文 化					
OH1150207 幼児体育 Ⅰ				OH3150207 ネイチャー ワーク		OH4150206 幼児体育 Ⅱ	
				OH3150201 幼児と健康	OH3250202 保育内容 指導法(健康)		
				OH3150208 子どもの 保健	OH3250206 子どもの 健康と安全		
				OH3150209 子どもの食 と栄養Ⅰ	OH3250207 子どもの食 と栄養Ⅱ	OH4150203 家庭	OH4250202 家庭科教 育法
			OH2250209 乳児保育 Ⅰ	OH3150211 乳児保育 Ⅱ			
				OH3150212 子ども学 演習		OH4150207 保育環境 マネジメン ト	
					OH3250208 親と子ども の発達支 援	OH4150208 保育相談 A	OH4250205 教育相談 A
				OH3150210 障害児保 育	OH3250209 医療保育 Ⅰ	OH4150209 医療保育 Ⅱ	OH4250206 教育相談 B
					OH3250210 インクル ーシブ保 育論		OH4250207 チーム保 育論







免許状・資格等の取得(教育保育学科)

I. 幼稚園教諭1種免許状の取得

本学で教育職員免許の幼稚園教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する教育保育学部教育保育学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

- 1. 基礎資格
学士の学位を有すること。
- 2. 基礎教育科目での履修（教育職員免許法施行規則に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論	2	1
		スポーツⅠ	1	1
		スポーツⅡ	1	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	1	2
		総合英語Ⅱ	1	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	コンピュータⅠ	1	2
		コンピュータⅡ	1	

- 3. 専門教育科目での履修
a. 領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な 単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
領域に 関する 専門的 事項	健康	16	幼児と健康	1	5
	人間関係		幼児と人間関係	1	
	環境		幼児と環境	1	
	言葉		幼児と言葉	1	
	表現		幼児と表現	1	
上記科目に含まれる内容を合わせた内容に係る 科目その他上記科目に準ずる内容の科目					
（ を 含む。 ） 報 保 機 育 器 内 容 の 指 導 法 及 び 教 材 の 活 用 情 報	保育内容総論		保育内容総論	2	2
	保育内容指導法（健康）		保育内容指導法（健康）	2	2
	保育内容指導法（人間関係）		保育内容指導法（人間関係）	2	2
	保育内容指導法（環境）		保育内容指導法（環境）	2	2
	保育内容指導法（言葉）	保育内容指導法（言葉）	2	2	
	保育内容指導法（表現）	保育内容指導法（表現）	2	2	

h. 教育の基礎的理解に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者論	2	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援基礎論	1	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		保育カリキュラム論	2	2
の道徳、相導、談法、総合及び合にびる関生なす徒学習指導の科目、時間教育等	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育の方法	2	2
	幼児理解の理論及び方法		子ども理解の理論と方法	2	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談 A	1	1
教する実科実践に関	教育実習	7	教育実習指導Ⅰ	1	6
			教育実習指導Ⅱ	1	
			教育実習Ⅰ	1	
			教育実習Ⅱ	3	
	学校体験活動 教職実践演習		教職実践演習（幼・小）	2	2

C. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な
		科目	単位	単位
大学が独自に設定する科目	14	発達心理学	2	※1
		保幼小連携基礎論	1	
		保幼小連携総論	1	
		幼児音楽Ⅰ A	1	
		幼児音楽Ⅰ B	1	
		幼児音楽Ⅱ	1	
		幼児音楽Ⅲ	1	
		幼児体育Ⅰ	1	
		幼児造形Ⅰ	1	
		幼児造形Ⅱ	1	
		児童文化	1	

※1「大学が独自に設定する科目」と最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得

Ⅱ. 小学校教諭1種免許状の取得

本学で小学校教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する教育保育学部教育
保育学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修するとともに、「介護等の体験」を行わなければなり
ません。

1. 基礎資格
- 学士の学位を有すること。
2. 基礎教育科目での履修（教育職員免許法施行規則に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論	2	1
		スポーツⅠ	1	1
		スポーツⅡ	1	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	1	2
		総合英語Ⅱ	1	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	コンピュータⅠ	1	2
		コンピュータⅡ	1	

*幼稚園教諭1種免許状と共通ですので、重複して履修する必要はありません。

3. 専門教育科目での履修
- a. 教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な 単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
教科に関する専門的事項	国語（書写含む。）	30	国語	1	10
	社会		社会	1	
	算数		算数	1	
	理科		理科	1	
	生活		生活	1	
	音楽		音楽	1	
	図画工作		図画工作	1	
	家庭		家庭	1	
	体育		体育	1	
	外国語		英語	1	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語科教育法	30	国語科教育法	2	2
	社会科教育法		社会科教育法	2	2
	算数科教育法		算数科教育法	2	2
	理科教育法		理科教育法	2	2
	生活科教育法		生活科教育法	2	2
	音楽科教育法		音楽科教育法	2	2
	図画工作科教育法		図画工作科教育法	2	2
	家庭科教育法		家庭科教育法	2	2
	体育科教育法		体育科教育法	2	2
	英語科教育法		英語科教育法	2	2

h. 教育の基礎的理解に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な 単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教育職論	2	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援基礎論	1	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	2
道徳 総合的な学習の時間等に関する科目及び生徒指導	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の指導法	2	2
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	2
	特別活動の指導法				
	教育の方法及び技術		教育の方法	2	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		ICT活用の理論と実践	1	1
	生徒指導の理論及び方法				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒・進路指導論	2	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談 A	1	1
関する実践科目に	教育実習	7	教育実習指導Ⅲ	1	6
			教育実習Ⅲ	3	
	学校体験活動		学校インターンシップ指導	1	
			学校インターンシップ	1	
	教職実践演習		教職実践演習（幼・小）	2	2

*幼稚園教諭1種免許状との共通科目は、重複して履修する必要はありません。

C. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な 単位
		科目	単位	
大学が独自に設定する科目	2	発達心理学	2	※1
		保幼小連携基礎論	1	
		保幼小連携総論	1	

※1「大学が独自に設定する科目」と最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得

Ⅲ. 特別支援学校教諭1種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)の取得

本学で特別支援学校教諭1種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)の取得をする場合、小学校教諭1種免許状または幼稚園教諭1種免許状(※1)、いずれかの基礎免許を取得見込みであり、以下の指定する教育保育学部教育保育学科の専門教育科目を履修しなければなりません。

※1 幼稚園教諭1種免許状を基礎免許とする場合、以下の指定する教育保育学部教育保育学科の専門教育科目に加え、「国語」「算数」「生活」「国語科教育法」「算数科教育法」「生活科教育法」を履修すること。

1. 特別支援教育に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な 単位数	
区分	科目	単位	科目	単位	単位	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	特別支援教育論	2	2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	知的障害児の心理・生理・病理	2	16	
			肢体不自由児の心理・生理・病理	2		
			病弱児の心理・生理・病理	2		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		知的障害教育論Ⅰ	2		
			知的障害教育論Ⅱ	2		
			肢体不自由教育論Ⅰ	2		
			肢体不自由教育論Ⅱ	2		
			病弱教育論	2		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目					
免許状に指定する領域を以て外としない	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5	視覚障害児の心理・生理・病理	1	6	
			聴覚障害児の心理・生理・病理	1		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		視覚障害教育論	1		
			聴覚障害教育論	1		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		発達障害の理解	1		
			重複障害等教育論	1		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	教育実習指導Ⅳ	1	3		
		教育実習Ⅳ	2			

Ⅳ. 保育士資格の取得

本学で保育士資格を取得する場合、児童福祉法施行規則（保育士養成所指定基準）に定める次の要件を充たすよう基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎教育科目での履修

指定保育士養成施設指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系列	教 科 目	単位	教 科 目	単位	単位
教養科目	外国語、体育以外の科目	6以上	ライフコース論	2	2以上
			ジェンダー論	2	
			自分と家族	2	
			コンピュータⅠ	1	4
			コンピュータⅡ	1	
			基礎演習Ⅰ	1	
			基礎演習Ⅱ	1	
	外国語	2以上	総合英語Ⅰ	1	2以上
			総合英語Ⅱ	1	
	体育（講義）	1	スポーツ健康論	2	2
	体育（実技）	1	スポーツⅠ	1	1以上
			スポーツⅡ	1	

2. 専門教育科目での履修

a. 告示別表第1による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系列	教 科 目	単位	教 科 目	単位	単位
保育に関する本質科目	保育原理	2	保育原理	2	2
	教育原理	2	教育原理	2	2
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	2	2
	社会福祉	2	社会福祉	2	2
	子ども家庭支援論	1	子ども家庭支援論	2	2
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	2	2
	保育者論	2	保育者論	2	2
保育の理解に 関する科目	保育の心理学	2	発達心理学	2	2
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	2
	子どもの理解と援助	1	子ども理解の理論と方法	2	2
	子どもの保健	2	子どもの保健	2	2
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養Ⅰ	2	2
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	保育カリキュラム論	2	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	2
	保育内容演習	5	保育内容指導法（健康）	1	1
			保育内容指導法（人間関係）	1	1
			保育内容指導法（環境）	1	1
			保育内容指導法（言葉）	1	1
			保育内容指導法（表現）	1	1
	保育内容の理解と方法	4	幼児と健康	1	1
			幼児と人間関係	1	1
			幼児と環境	1	1
			幼児と言葉	1	1
			幼児と表現	1	1
	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2	2
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	1
	子ども健康と安全	1	子ども健康と安全	1	1
	障害児保育	2	障害児保育	2	2
	社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	1
	子育て支援	1	子育て支援	1	1

保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ（保育所）	2	2
			保育実習Ⅰ（施設）	2	2
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	1
			保育実習指導Ⅰ（施設）	1	1
総合演習	保育実践演習	2	保育実践演習	2	2

ｂ．告示別表第２による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数
系 列	単位	教 科 目	単位	単位
保育の本質・目的に関する科目	15以上	教育制度	2	9以上
保育の対象の理解に関する科目		教育心理学	2	
		特別支援基礎論	1	
		保幼小連携基礎論	1	
		保幼小連携総論	1	
保育の内容・方法に関する科目		保育内容指導法（健康）	1	
		保育内容指導法（人間関係）	1	
		保育内容指導法（環境）	1	
		保育内容指導法（言葉）	1	
		保育内容指導法（表現）	1	
		幼児音楽ⅠA	1	
		幼児音楽ⅠB	1	
		幼児音楽Ⅱ	1	
		幼児音楽Ⅲ	1	
		幼児造形Ⅰ	1	
		幼児造形Ⅱ	1	
		幼児体育Ⅰ	1	
		児童文化	1	
		子どもの食と栄養Ⅱ	1	
保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ	2	
		保育実習Ⅲ		
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ	1	
		保育実習指導Ⅲ		

注意事項

幼稚園教諭1種免許状、小学校教諭1種免許状、特別支援学校教諭1種免許状、保育士資格を取得するためには、各免許状、資格が定める所定の科目（上記Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．Ⅳを確認のこと）を履修し、単位の認定を受けなければなりません。

本学では、実習に関する科目の履修資格、単位の認定等について、「桜花学園大学教育保育学部 教職課程及び指定保育士養成施設の指定および運営の基準に定める教育課程の履修に関する細則（以下「細則」という）を定めています（『履修の手引き』の末尾に掲載）。

実習は、学外で行う体験学習科目です。学生のみなさんは、『履修の手引き』、「シラバス」及び上記「細則」をよく読んで、実習に関する科目を履修してください。

V. 幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状の取得

教育保育学部を卒業後、本学大学院人間文化研究科人間科学専攻に進学し修士の学位を取得し、取得を希望する免許課程の科目を履修し、所定の単位を修得した場合、幼稚園教諭専修免許状および小学校教諭専修免許状を取得することが出来ます。

1. 基礎資格 修士の学位を取得すること。
2. 基礎要件 幼稚園教諭1種免許または小学校教諭1種免許を取得していること。
3. 取得を希望する免許課程における履修すべき科目と修得を必要とする最低単位数
教科又は教職に関する科目 24単位以上。

免許状・資格等の取得(国際教養こども学科)

I. 幼稚園教諭1種免許状の取得

本学で教育職員免許の幼稚園教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する教育保育学部国際教養こども学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

- 1. 基礎資格
学士の学位を有すること。
- 2. 基礎教育科目での履修（教育職員免許法施行規則に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論	2	1
		スポーツⅠ	1	1
		スポーツⅡ	1	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	1	2
		総合英語Ⅱ	1	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	コンピュータⅠ	1	2
		コンピュータⅡ	1	

- 3. 専門教育科目での履修
- a. 領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
領域に 関する 事項 専門	健康	16	幼児と健康	1	5
	人間関係		幼児と人間関係	1	
	環境		幼児と環境	1	
	言葉		幼児と言葉	1	
	表現		幼児と表現	1	
	上記科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目その他上記科目に準ずる内容の科目				
（保育 機器 及び 教材 の 活用 を含む）	保育内容総論	16	保育内容総論	2	2
	保育内容指導法（健康）		保育内容指導法（健康）	2	2
	保育内容指導法（人間関係）		保育内容指導法（人間関係）	2	2
	保育内容指導法（環境）		保育内容指導法（環境）	2	2
	保育内容指導法（言葉）		保育内容指導法（言葉）	2	2
	保育内容指導法（表現）		保育内容指導法（表現）	2	2

ｂ．教育の基礎的理解に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者論	2	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援基礎論	1	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		保育カリキュラム論	2	2
の道指徳、相談法等及び合にび的関生な学習の指導、時間教育等	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育の方法	2	2
	幼児理解の理論及び方法		子ども理解の理論と方法	2	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	1	1
教育する実践に関	教育実習	7	教育実習指導Ⅰ	1	6
			教育実習指導Ⅱ	1	
			教育実習Ⅰ	2	
			教育実習Ⅱ	2	
	学校体験活動				
	教職実践演習		教職実践演習（幼）	2	2

Ｃ．大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
		科目	単位	単位
大学が独自に設定する科目	14	発達心理学	2	※1
		教育実習入門	1	
		児童文化	2	
		多文化共生研究	2	
		幼児音楽A	1	
		幼児音楽B	1	
		幼児造形A	1	
		幼児造形B	1	
		幼児体育A	1	
		幼児体育B	1	

※1「大学が独自に設定する科目」と最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得

II. 保育士資格の取得

本学で保育士資格を取得する場合、児童福祉法施行規則（指定保育士養成施設指定基準）に定める次の要件を充たすよう基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎教育科目での履修

指定保育士養成施設指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系列	教 科 目	単位	教 科 目	単位	単位
教養科目	外国語、体育以外の科目	6以上	ライフコース論	2	2以上
			ジェンダー論	2	
			自分と家族	2	
			コンピュータⅠ	1	4
			コンピュータⅡ	1	
			基礎演習Ⅰ	1	
			基礎演習Ⅱ	1	
	外国語	2以上	総合英語Ⅰ	1	2以上
			総合英語Ⅱ	1	
	体育（講義）	1	スポーツ健康論	2	2
	体育（実技）	1	スポーツⅠ	1	1以上
			スポーツⅡ	1	

2. 専門教育科目での履修

a. 告示別表第1による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系列	教 科 目	単位	教 科 目	単位	単位
的保に育関のす本質・科目目	保育原理	2	保育原理	2	2
	教育原理	2	教育原理	2	2
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	2	2
	社会福祉	2	社会福祉	2	2
	子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	2	2
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	2	2
	保育者論	2	保育者論	2	2
関象すの理科解目に保の対	保育の心理学	2	発達心理学	2	2
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	2
	子どもの理解と援助	1	子ども理解の理論と方法	2	2
	子どもの保健	2	子どもの保健	2	2
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	2	2
	保育の計画と評価	2	保育カリキュラム論	2	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	2
保育の内容・方法に関する科目	保育内容演習	5	保育内容指導法（健康）	1	1
			保育内容指導法（人間関係）	1	1
			保育内容指導法（環境）	1	1
			保育内容指導法（言葉）	1	1
			保育内容指導法（表現）	1	1
	保育内容の理解と方法	4	幼児と健康	1	1
			幼児と人間関係	1	1
			幼児と環境	1	1
			幼児と言葉	1	1
			幼児と表現	1	1
	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2	2
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	1
	子ども健康と安全	1	子どもの健康と安全	1	1
	障害児保育	2	障害児保育	2	2
	社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	1
	子育て支援	1	子育て支援	1	1
保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ（保育所）	2	2
			保育実習Ⅰ（施設）	2	2
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	1
			保育実習指導Ⅰ（施設）	1	1
総合演習	保育実践演習	2	保育実践演習	2	2

ｂ．告示別表第２による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数
系 列	単位	教 科 目	単位	単位
保育の本質・目的に関する科目	15以上	教育制度	2	9以上
保育の対象の理解に関する科目		教育心理学	2	
		海外の保育	2	
		特別支援基礎論	1	
		保育内容指導法（健康）	1	
		保育内容指導法（人間関係）	1	
保育の内容・方法に関する科目		保育内容指導法（環境）	1	
		保育内容指導法（言葉）	1	
		保育内容指導法（表現）	1	
		幼児音楽A	1	
		幼児音楽B	1	
		幼児造形A	1	
		幼児造形B	1	
		幼児体育A	1	
		幼児体育B	1	
		児童文化	2	
保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ	2	
		保育実習Ⅲ		
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ	1	
		保育実習指導Ⅲ		

注意事項

幼稚園教諭1種免許状、保育士資格を取得するためには、各免許状、資格が定める所定の科目（上記Ⅰ、Ⅱを確認のこと）を履修し、単位の認定を受けなければなりません。

本学では、実習に関する科目の履修資格、単位の認定等について、「桜花学園大学教育保育学部 教職課程及び指定保育士養成施設の指定および運営の基準に定める教育課程の履修に関する細則（以下「細則」という）を定めています（『履修の手引き』の末尾に掲載）。

実習は、学外で行う体験学習科目です。学生のみなさんは、『履修の手引き』、「教育保育学部シラバス」及び上記「細則」をよく読んで、実習に関する科目を履修してください。

Ⅲ．幼稚園教諭専修免許状

教育保育学部を卒業後、本学大学院人間文化研究科人間科学専攻に進学し修士の学位を取得し、取得を希望する免許課程の科目を履修し、所定の単位を修得した場合、幼稚園教諭専修免許状を取得することが出来ます。

- 基礎資格 修士の学位を取得すること。
- 基礎要件 幼稚園教諭1種免許を取得していること。
- 取得を希望する免許課程における履修すべき科目と修得を必要とする最低単位数
教科又は教職に関する科目 24単位以上。